

令和3年度 事業報告

I.法人運営の状況

1.社協運営

少子・高齢化や人口減少が急速に進行し、地域や家庭のつながりの希薄化が進む中、社会的孤立やひきこもり、子どもの貧困など、地域を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでの社会福祉の枠組みでは対応しきれない様々な課題が顕在化しています。

国においては、地域共生社会の実現を目指し、地域住民が世代や背景を超えてつながり、受け手・支え手という関係を超えて支えあう仕組みづくりを進めています。

全国社会福祉協議会においても、「社協・生活支援活動強化方針」を示し、多様化・複雑化する地域課題・生活課題への対応に向けた社協活動のさらなる推進を図っており、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な組織として、その役割を最大限に発揮していくことが求められています。

こうした中、「すべての地域住民が、住み慣れた地域で、安心して暮らせるようお互いが支えあっていく地域社会を築く」を基本理念とする美咲町社会福祉協議会は、第2期地域福祉活動計画に基づき、“すべての人がお互いを認めあい、支えあい、孤立することなくその人らしい生活を送ることができる「地域共生社会」の実現”に向け、様々な事業・活動に取り組みました。

令和3年度も、地域福祉推進の中核組織としての自覚と責任の下、コロナ禍により様々な事業・活動が制約される中、出来る限りのコロナ感染予防を行い、事業等の日程変更や縮小等内容を再検討し、事業・活動に取り組みました。また、小地域ケア会議等から上がった情報を元に、生活課題・福祉課題の早期発見様々努め、その解決に向けた取組みを住民、ボランティア、各種団体や行政等関係機関と連携し事業・活動に取り組みました。

また、介護保険事業では、要介護・要支援状態にある方が、住み慣れた地域でその人らしく、安心して暮らし続けることができるよう通所介護事業・訪問介護事業・居宅介護支援事業・地域密着型特別養護老人ホーム事業の運営にも取り組みました。

各事業所ではエッセンシャルワーカーとしてコロナ感染予防の重要性を職員一人ひとりが理解し、それを共有し、コロナ感染予防の徹底にも努めました。

2.役員会等の開催状況

(1) 理事会

| 開催日 | 場所 | 主要付議事項 |
|--|-----------------------------|--|
| <p>○第1回 令和3年6月2日 (水) 理事 10名出席 監事 2名出席</p> | <p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p> | <p>【会長の専決】 ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正予算について</p> <p>【議案】 ・美咲町社協令和2年度事業報告について ・美咲町社協令和2年度一般会計収支決算について ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協「次期理事・監事選任候補者の推薦」について ・美咲町社協「次期評議員選任候補者の推薦」について ・美咲町社協「次期評議員選任・解任委員の選任」について ・美咲町社協評議員選任・解任委員会の開催日時及び議題について ・美咲町社協定時評議員会の開催日時及び議題について</p> <p>【報告】 ・美咲町社協の会長の職務執行状況について ・第10回美咲町社会福祉大会について</p> |
| <p>○第2回 令和3年6月18日 (金) 理事 11名出席 監事 2名出席</p> | <p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p> | <p>【議案】 ・美咲町社協会長、副会長の選定について</p> |
| <p>○第3回 令和3年8月20日 (金) 理事 10名出席 監事 2名出席</p> | <p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p> | <p>【議案】 ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協「理事選任候補者の推薦」について ・美咲町社協「評議員選任候補者の推薦」について ・美咲町社協「評議員選任・解任委員の一部選任替え」について ・美咲町社協評議員選任・解任委員会の開催日時及び提出議題について ・美咲町社協9月度評議員会の開催日時及び議案について ・第10回美咲町社会福祉大会について ・第10回美咲町社会福祉大会における表彰者について ・福祉バス貸出規程の廃止について ・美咲町ボランティアセンター運営規程の制定について</p> |

| | | |
|--|-----------------------------|--|
| <p>○第4回 令和3年11月26日(金) 理事11名出席 監事1名出席</p> | <p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p> | <p>【協議】 <ul style="list-style-type: none"> ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協副会長の選定について ・美咲町社協非常勤職員給与規程の一部改正について ・美咲町社協12月度評議員会の開催日時及び議案について 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・美咲町社協の会長の職務執行状況について ・美咲町社協令和3年度中間監査報告について ・経営改善チーム会議進捗について </p> |
| <p>○第5回 令和4年1月20日(木) 理事12名出席 監事2名出席</p> | <p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p> | <p>【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協令和3年度～7年度社会福祉充実計画について ・美咲町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書他について ・中核機関設置について ・美咲町社協1月度評議員会の開催日時及び提出議案について 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県災害派遣福祉チーム(DWAT)短期入所施設に関する協定書について </p> |
| <p>○第6回 令和4年3月14日(月) 理事9名出席 監事2名出席</p> | <p>中央ふれあいセンター 2階会議室</p> | <p>【会長の専決】 <ul style="list-style-type: none"> ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について 【議案】 <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金貸付(小口貸付)事業の徴収不能金の対応について ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協令和4年度事業計画について ・美咲町社協令和4年度一般会計収支予算について ・美咲町社協管理者の人事について ・美咲町社協3月度評議員会の開催日時及び議案について </p> |

(2) 評議員会

| 開催日 | 場 所 | 主要付議事項 |
|---|--|--|
| ○第1回 令和3年6月18日 (金) 評議員 13名出席 理 事 3名出席 監 事 2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【会長の専決】 ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正予算について 【議 案】 ・美咲町社協令和2年度事業報告について ・美咲町社協令和2年度一般会計収支決算について ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協「理事・監事の選任」について ・美咲町共同募金委員会「運営委員及び監事の選任」について 【報 告】 ・第10回美咲町社会福祉大会について |
| ○第2回 令和3年9月6日 (月) 評議員 15名 | 県内、緊急事態宣言発 令下により、提案に係る 決議の省略(書面審議) | 【議 案】 ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協「理事の一部選任替え」について ・美咲町共同募金委員会「運営委員の一部選任替え」について 【報 告】 ・第10回美咲町社会福祉大会について ・福祉バス貸出規定廃止について ・美咲町ボランティアセンター運営規程制定について |
| ○第3回 令和3年12月7日 (火) 評議員 14名出席 理 事 2名出席 監 事 2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議 案】 ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について 【報 告】 ・美咲町社協の理事及び役員について ・美咲町社協非常勤職員給与規程の一部改正について ・美咲町社協の会長の職務執行状況について ・美咲町社協令和3年度中間監査報告について ・経営改善チーム会議進捗について |
| ○第4回 令和4年1月31日 (月) 評議員 14名出席 理 事 2名出席 監 事 2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議 案】 ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協令和3年度～7年度社会福祉充実計画について 【報 告】 ・美咲町ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書他について ・中核機関設置について |

| | | |
|--|---------------------|---|
| | | ・岡山県災害派遣福祉チーム(DWAT)短期入所施設に関する協定書について |
| ○第5回 令和4年3月24日 (木) 評議員14名出席 理事2名出席 監事2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【会長の専決】 ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について 【議案】 ・美咲町社協令和3年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協令和4年度事業計画について ・美咲町社協令和4年度一般会計収支予算について 【報告】 ・生活福祉資金貸付(小口貸付)事業の徴収不能金の対応について ・美咲町社協管理者の人事について |

(3) 監査

| 開催日 | 場所 | 主要付議事項 |
|--|--|---|
| 令和2年度 監査 令和3年5月24日 (月) 監事2名出席 事務局職員3名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | ・令和2年度事業報告書の監査 ・令和2年度資金収支計算書の監査 ・令和2年度貸借対照表の監査 ・令和2年度財産目録の監査 ・その他 |
| 令和3年度中間棚卸 監査 令和3年10月1日 (金) 監事2名出席 会長 同行 | 中央地区福祉センター 美咲町中央保健センター 旭地区福祉センター 柵原地区福祉センター | ・4月～9月上半期の各センター内事業所等の備品管理及び小口現金、寄付金、預かり金、切手管理について、棚卸等監査を実施 |
| 令和3年度中間監査 令和3年11月5日 (金) 監事2名出席 事務局職員3名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | ・4月～9月上半期の法人運営、地域福祉事業、介護保険事業等の業務執行状況について及び予算の執行状況について監査を実施 |

(4) 評議員選任・解任委員会

| 開催日 | 場所 | 主要付議事項 |
|------------------------------------|---------------------|--------------------------|
| ○第1回 令和3年6月10日 (木) 委員5名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議案】 ・美咲町社協評議員の選任について |

| | | |
|------------------------------------|---------------------|--------------------------|
| ○第2回 令和3年8月26日 (木) 委員5名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議案】 ・美咲町社協評議員の選任について |
|------------------------------------|---------------------|--------------------------|

(5) 共同募金運営委員会

| 開催日 | 場所 | 主要付議事項 |
|---|---------------------|---|
| ○第1回 令和3年6月2日 (水) 理事10名出席 監事2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議案】 ・令和2年度共同募金事業報告・決算、について |
| ○第2回 令和3年6月18日 (金) 理事11名出席 監事2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議案】 ・美咲町共同募金委員会の会長及び副会長の選定について ・美咲町共同募金委員会審査委員の一部選任替えについて |
| ○第3回 令和3年8月20日 (金) 理事10名出席 監事2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議案】 ・令和3年度赤い羽根共同募金運動の展開について ・令和3年度赤い羽根共同募金運動の事務処理について ・令和3年度赤い羽根共同募金運動の助成事業について |
| ○第4回 令和4年3月14日 (月) 理事9名出席 監事2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議案】 ・令和4年度赤い羽根共同募金配分事業について(報告) ・令和4年度赤い羽根共同募金事業計画について |

(6) 共同募金運営委員会(監査)

| 開催日 | 場所 | 主要付議事項 |
|---|---------------------|----------------------------------|
| 令和2年度 監査 令和3年5月24日 (月) 監事2名出席 事務局職員2名出席 担当職員2名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 【議案】 ・令和2年度共同募金事業報告・決算、監査について |

(7) 共同募金委員会審査委員会

| 開催日 | 場所 | 主要付議事項 |
|-----------------------------------|---------------------|--|
| ○第1回 令和4年3月4日 (金) 委員9名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | <ul style="list-style-type: none"> ・美咲町共同募金委員会審査委員長選任について ・令和4年度赤い羽根共同募金助成事業助成審査について |

(8) 職員研修等

| 開催日 | 場所 | 研修内容等 |
|--|---------------------|--|
| 新人職員研修会 令和3年4月16日 (金) 職員12名出席 役員3名出席 行政5名出席 発表者8名出席 事務局1名出席 計29名 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会について ・権利擁護事業について ・地域福祉事業について ・地域包括支援センターについて ・居宅介護支援事業所について ・訪問介護事業所について ・通所介護事業所について ・地域密着型特別養護老人ホームについて |
| 職員研修会 令和3年7月13日 (火) 令和3年7月15日 (木) 社協職員28名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 講師:美作大学 社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔氏 ○第2期地域福祉活動計画実行にあたり <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの重要性について ・評価シートの確認について |
| 職員研修会 令和3年12月7日 (火) 令和3年12月13日 (月) 社協職員27名出席 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 講師:美作大学 社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔氏 ○第2期地域福祉活動計画実行にあたり <ul style="list-style-type: none"> ・評価制度の重要性 ・評価シートの活動計画までの確認 ・評価シートの実施結果から評価について |
| 職員研修 情報セキュリティ研修会(eラーニング) 令和4年2月1日～ 2月28日 社協全職員対象 | 各事業所 パソコン | 一般社団法人岡山中央総合情報公社 ○eラーニング「社会人のための情報モラル&情報セキュリティ」 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットなどの利用に関する正しい知識について |

(9) 表彰伝達式

| 開催日 | 場所 | 主要付議事項 |
|--|---------------------|------------------------------------|
| 令和3年10月14日 (木) 表彰者 個人7名 団体1団体 | 中央ふれあいセンター 2階会議室 | 「令和3年度岡山県総合福祉大会」社会福祉事業功労者に対する表彰伝達式 |
| 令和3年12月22日 (水) 表彰者 個人1名 | 久米老人ホーム組合 静香園 | 「令和3年度全国社会福祉大会」社会福祉施設功労者に対する表彰伝達式 |

Ⅱ. 地域福祉事業

(1) 地域福祉活動の推進

1. 小地域ケア会議、小地域福祉活動の促進

日常生活圏の中での見守り・声かけ活動、地域での福祉活動をとおして発見された生活課題や困りごとについて話しあい、解決策を見出すための仕組みづくりの促進・充実、さらに解決に向けての活動が進められるように地域住民と美咲町、地域包括支援センター、介護保険事業所との連携に努めました。

(1) 小地域ケア会議開催状況

開催単位: 自治会単位 79%開催 **〈新規: 令和3年度8自治会立ち上げ〉**

| 中央地区(24自治会) | 柵原地区(42自治会) | 旭地区(15自治会) |
|---------------------------------------|-------------|------------|
| 21自治会 | 28自治会 | 15自治会 |
| 上半期(4月～9月) 開催予定数 73 中止及び延期 26 実施数 47 | | |
| 下半期(10月～3月) 開催予定数 93 中止及び延期 16 実施数 77 | | |
| 合計 124回 | | |

構成メンバー: 自治会長、民生委員、常会長、老人クラブ、愛育委員、栄養委員、ボランティア、サポーター、サロン代表者、地域包括支援センター職員、社協職員等(地域ごとに構成メンバーを決定している)小地域ケア会議開催が難しいところには、サロン活動、コロバン体操、サポーター会合等に出席し情報共有・連携の強化に努めました。また、柵原地域については民生委員地区会(北和気地区・南和気地区・本庁地区)に参加し情報共有、連携の強化に努めました。(開催回数に含む)。民生委員中央・旭・柵原支部の定例会(開催回数に含まない)

(2) 赤い羽根小地域ケア会議推進助成事業～みんなで地域づくりを応援しよう～

小地域ケア会議の取組みの中で、地域共生社会の実現に向けた地域課題の解決に向けた取組みを美咲町内の団体より公募方式で募集し、予算の範囲内(1団体1万円)で助成を行いました。
※助成対象: 美咲町内で小地域ケア会議に取り組んでいる団体・これから取り組む団体であり、その小地域ケア会議の協議の中から出てきた地域課題の解決に取り組む団体

① 助成実績

| 中央地区(24自治会) | 柵原地区(42自治会) | 旭地区(15自治会) |
|-------------|-------------|------------|
| 11自治会 | 18自治会 | 5自治会 |
| 合計 38自治会 | | |

※令和4年度より助成額を3万円とする。

② 赤い羽根ちいきふくし活動新聞の作成

地域で取組まれている様々な福祉活動の報告の場を設け、活動の重要性を再確認や情報共有・活動のさらなる活性に繋げることを目的に「赤い羽根ちいきふくし活動新聞(第2号)」を発行しました。また、取組みを行われていない地域に対しても働きかけを行うきっかけづくりとして全戸配布を行い、地域づくりの発展に努めました。

【掲載地域・内容】

| 地区 | 地域 | 内容 |
|----|-----|-------------|
| 中央 | 打穴上 | 防災意識を高める取組み |
| 旭 | 小山 | 見守り啓発ポスター |
| 柵原 | 小瀬 | 安心マグネットの取組み |

配布日 令和4年6月(美咲町広報と同封)

作成数 6,000部(全戸配布)

2. 小地域福祉活動の支援

子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、地域で暮らす誰もが身近な場所で、気軽に集い、語り、ふれあい交流のできる居場所づくりや生きがいを支援し、これらの機会をとおして、見守り・声かけの意識の醸成にも努め、お互いに助け、助けられる関係づくりにも努めました。

(1)ふれあいサロンの立ち上げ支援・運営支援

コロナ禍によりふれあいサロンを運営している代表の方へ向けて、“感染予防の方法”と“通常のサロン活動に代わった取組み”を記載した「ふれあいサロン開催の手引きパート2」等を作成し、これからのサロン活動に向けての後方支援と意識啓発に努めました。また、ふれあいサロン活動の運営支援のための助成を行い、ふれあい交流促進支援を行いました。

※県や町から活動自粛の協力要請があった時期に関しては、サロン活動に関しても活動自粛の協力の依頼文を通知しました。(令和3年5月・6月・8月・9月、令和4年1月・2月)

ふれあいサロンの活動状況

| 地区名 | | サロン数 | 延べ参加者数 | 備考 |
|-------------|-------|------|--------|----|
| 中央 (48) | 加美地区 | 16 | 872人 | |
| | 三保地区 | 13 | 894人 | |
| | 打穴地区 | 9 | 297人 | |
| | 大埴和地区 | 9 | 436人 | |
| | 男性サロン | 1 | 0人 | |
| 柵原 (42) | 北和気地区 | 9 | 719人 | |
| | 吉岡地区 | 12 | 621人 | |
| | 南和気地区 | 9 | 350人 | |
| | 本庁地区 | 8 | 1,294人 | |
| | 飯岡地区 | 4 | 414人 | |
| 旭 (23) | 倭文西地区 | 4 | 178人 | |
| | 西川地区 | 6 | 630人 | |
| | 埴和地区 | 8 | 1,431人 | |
| | 江与味地区 | 4 | 301人 | |
| | 手芸クラブ | 1 | 158人 | |
| 子育てサロン | | 2 | 240人 | |
| 障害児者支援サロン | | 1 | 14人 | |
| 笑いのサロン和(難病) | | 1 | 15人 | |
| 計 | | 117 | 8,864人 | |

○ふれあいサロン開催の手引きの作成

サロンを運営している代表の方を対象に、新型コロナウイルス感染症対策を行ないながら継続的にサロン活動を行なってもらえるよう情報提供と後方支援を目的に作成しました。

【内容(A4用紙 6ページ表紙含む)】

1. 新型コロナウイルス感染拡大予防チェックシート
2. ふれあいサロン活動における手引き
3. 通常のサロンに代わった取組み

○アルコール消毒液の配布(117団体対象)

○ふれあいサロン代表者研修会の開催

サロン代表者を対象に、活動の情報交換・課題解決に向けた情報提供を目的として開催しました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、旧小学校区単位で時間を区切り、短時間で開催しました。また、コロナ禍におけるサロン開催状況や住民の皆さんの不安な声等アンケート調査を実施しました。(1月:回収率79%)

【3地域別代表者研修(上期)】

| 実施日 | 地区 | 参加者数 | 内容 |
|-------------|------|------|--------------------|
| 令和3年8月2日(月) | 旭地区 | 22名 | ①助成金等についての事務連絡、相談会 |
| 令和3年8月3日(火) | 柵原地区 | 43名 | |
| 令和3年8月4日(水) | 中央地区 | 49名 | |

【3地域別代表者研修会(下期)】

下記の研修内容で実施予定でしたが、全国的にオミクロン株の驚異的なスピードで**感染拡大が懸念されたため開催を中止しました。※平成30年度までは合同研修形式で実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度より開催方法を3地域別で企画しています。**

| 実施日 | 地区 | 参加者数 | 内容 |
|--------------|------|------|---|
| 令和4年2月10日(木) | 旭地区 | -名 | ①「コロナに負けないサロン活動！」 講師:直原一美様(笑いヨガ、体操) ②ふれあいサロンについての意見交換会 ③事務連絡(ふれあいサロンの活動報告について等) ※上記内容を令和4年度に実施予定 |
| 令和4年2月21日(月) | 柵原地区 | -名 | |
| 令和4年3月1日(火) | 中央地区 | -名 | |

開催を中止した代わりに、“感染予防方法”や“新しいカタチでサロン活動”を行なっている団体取材し、“コロナに負けん！ふれあいサロンのヒント集パート2”を作成しました。

【内容 12ページ表紙含む】

(1)『ふれあいサロン活動について』

ふれあいサロン活動の説明と町内で活動している団体数等について周知しました。

(2)『フレイル予防について』

フレイルについての説明と簡易チェック表や予防ポイントを掲載し、日頃からフレイル予防について意識してもらえるように周知しました。

(3)『アンケートの結果と質疑応答』

アンケート結果を表にまとめ、ご意見に対しての回答を掲載しました。

(4)『町内のサロン活動の取組みや出張講座の紹介』

3 地域それぞれで創意工夫をこらした“新しいカタチのサロン活動”をされている団体を取り上げてどのような取組みをされているのか取材しました。

(5)『レクリエーショングッズ貸出について・新型コロナウイルス感染予防対策について』

社協が貸出しているレクリエーショングッズについて、サロン活動でも使ってもらえるよう周知しました。また、新型コロナウイルス感染予防のための手引きを掲載しました。

(2)居場所づくり応援プログラム「ワンデイカフェ」開設・継続支援

空き家や空き店舗、個人宅、コミュニティ等を活用して、町内に5ヶ所の固定のワンデイカフェが継続開設され、開設にあたっての相談・助言等を行い、気軽に集える場・悩みが相談できる場・役割が持てる居場所づくりができるよう活動支援を行いました。

○ワンデイカフェ開店状況

| 地域 | 団体 | 場所 | 頻度 | 備考 |
|----|------------|----------|------------|-------------------------|
| 中央 | にこにこカフェ | 打穴西公会堂等 | 毎月1回 | おしゃべり、喫茶、体操、手芸、各種ミニ講座等。 |
| 柵原 | 楽楽カフェ | 公会堂・空き家等 | 毎月1回 | |
| | みいちゃんの家 | 空き家 | 常時／定例日毎月1回 | |
| | サンデイカフェ | 公会堂 | 毎月1回 | |
| 旭 | えよみ友楽館 | 空き家・空き店舗 | 毎週1回(月曜日) | |
| | 如風(集いの家)の会 | 空き家等 | 毎月1回 | |

3. 障がい者支援事業

(1)障がい者アート～わたしの世界～in みさき

芸術活動をとおして、障がいのある方が主体となって地域で活動していける「場」と地域住民と交流できる「場」を創出し、障がいのある方が生きがいのある生活を送れるよう地域の方々と連帯して自立した社会参加を行えるよう事業を実施しました。また、自分とおおちの作品を町内で巡回展示したことで日頃の活動意欲の向上にも繋げる支援を行いました。

| | |
|-----|--|
| 日時 | 令和3年12月18日(土)(粘土の型とり)／令和4年3月26日(土)(色づけ) 10:00～12:00 |
| 場所 | 北和気コミュニティーセンター |
| 参加者 | 施設利用者 6名・施設職員 3名・地域ボランティア 1名・ジュニアボランティア 3名・講師 4名・職員 2名 合計 19名 |
| 内容 | 【内容】 美咲町の郷土玩具である旧柵原町の百々で製作された百々人形を作成し、土の味わいを感じながら、地域文化に触れてもらう。 全2日間【1日目:「粘土の型とり」(90分) 2日目:色づけ (90分)】 ・2日目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ジュニアボランティアの参加を中止にした。 ・完成した作品は巡回展示をする予定であったが、蔓延防止等重点措置のため製作が延期となり、展示は行えなかった。 ・2日目の日程について、1月29日(土)を予定していたが新型コロナウイルスの影響により3月5日(土)に延期になった。さらに、3月5日(土)も町内の新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かず、3月26日(土)に延期となる。 |

(2) みしゃモンカレッジ 2021(平成 29 年度 1 期生 6 名・平成 30 年度 2 期生 6 名・令和元年度 3 期生 2 名)

障がいのある方が主になって地域で活動していける「場」を、本人や家族だけでなく地域住民、障がい者福祉施設、行政と連携し、障がいのある方々に多くの夢をもってもらい、いきいきとした生活を送ってもらえることを目的に、地域で「学べる場」「体験できる場」として 3 回シリーズでみしゃモンカレッジの開講を今年度も企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を中止としました。

①アンケート調査の実施

いまだに全国的に新型コロナウイルス感染拡大が懸念されています。そのため、様々な活動が自粛を余儀なくされ、みしゃモンカレッジも休校しておりました。そのような中でも、みしゃモンカレッジの開講を望む声やみんなに会いたいという声を多数いただきました。令和 4 年度の開講にむけて関係者の皆さまにアンケート調査を実施しました。

②NOMA(全国社会福祉協議会情報誌)への掲載

この度、本会の障がいのある人が学びを通じて、地域住民と交流する『みしゃモンカレッジ』の取組みが全国社会福祉協議会の発行する社協情報 NORMA(令和 4 年 3 月号)の「社協活動最前線」に掲載されました。みしゃモンカレッジのカレッジ長である松岡博史さんと地域福祉課の職員がオンラインで取材を受けさせていただきました。

③みしゃモンカレッジ(1 期～3 期)記念アルバムの作成

みしゃモンカレッジの記念アルバムをカレッジ長・カレッジ生・ボランティアのご協力のもと作成しました。配布先:カレッジ生・カレッジ生ご家族・講師・カレッジサポーター 等

(3) 障がい者支援「笑顔のお届け便」

多くの住民に「赤い羽根共同募金」を啓発するために、赤い羽根商品を障がい者福祉施設・団体に作製していただき、地域で行われる行事等で募金活動を行い、障がい者福祉の向上及び住民同士の支えあい活動を地域全体で盛り上げていくとともに、事業や障がい者施設・団体の啓発に努めました。また、直接障がいのある方と地域住民が触れ合う場として「笑顔のお届け便出店」を行いました。総売り上げ:391,991 円/うち募金分 61,885 円

●各障がい者福祉施設や作業所等が提供する商品を、地域住民が募金するごとに、一定の割合が赤い羽根共同募金となる。みしゃモンシール(1 シート 100 円)を商品に貼る。

| 参加事業所・団体 | 商品 | 実施場所 |
|---|--|--|
| ・誕生寺支援学校 ・さくらの実 ・ワークみさき・さやかなる苑 ・ひかり学園さつきの丘・あなぐま舎・ほっとスペースすみれ・美咲町障がい者ネットワーク | パン・コーヒー・マフィン・ポップコーン・焼き鳥・焼きそば・おこわ・赤飯・フルーツフルト・焼き物・アクセサリー・ドライフラワーなど | 【笑顔のお届け便出店】 日時:令和 3 年 12 月 9 日(木)～10 日(金) (2 日間) 時間:11:30～13:00 場所:美咲町役場第 2 分庁舎 障害者ネットワーク共催(協力) |

(4) 当事者団体の活動支援

障害児者、介護者家族等の当事者組織団体の活動支援、連携を図っていくことを目的に、活動支援に取組み、在宅介護者・障害児者本人の社会参加の場、勉強できる場、精神的ゆとりを生み出す機会づくりなどあらゆる面での支援につながるよう努めました。

【活動支援状況】

| | | |
|------------------------------------|--|--|
| <p>レインボータートル (本人の会)</p> | <p>○小委員会 開催中止 ○会長・副会長会 11月12日(金) 12月2日(木) ○クリスマス会 12月19日(日) ○みさきTV撮影 11月22日(月)</p> | <p>○活動内容 心身に障がいがあっても、“自分らしく生きていこう”“自らの力を発揮していこう”という思いから、レインボータートル(本人の会)を立ち上げ、仲間同士でレクリエーション活動や映画鑑賞や買い物、またカラオケ・ボーリング大会等、自分たちがやりたいことを企画実行し、楽しく活動をしています。また、美咲町社協等の事業運営にも協力・支援を行い、積極的に地域交流活動も行なっています。 ※会長・副会長会議にて活動の見直しと取組みについて協議を行いました。 ※今年度は、障がい者ネットワークが取組んでいる“障がいの理解を広める”活動として、啓発動画の作成に協力しました。</p> |
| <p>美咲町介護者の会</p> | <p>認知症の方や要介護の方で介護が必要な高齢者、障がい等により在宅で介護をしている人、介護を経験(卒業)した人、介護に関心のある人が集まり、お互いの悩みや体験を共有し、また体験や情報を分かちあう介護者相互の交流の会です。 ・開会日:毎月第1木曜日開催 ・会 場:中央公民館・柵原文化センター・南和気荘・旭町民センター他 7月1日(木)・8月5日(木)・11月4日(木)・1月27日(木)参加</p> | |
| <p>笑いのサロン和<small>(なごみ)</small></p> | <p>病を抱えている本人や支えている家族が、誰にも相談ができず自分で抱え込んでしまった時の心のよりどころ(居場所)として、「気軽に立ち寄れて話や相談ができる場」を目指して活動をしています。 開催日:毎月第4水曜日 13:30~15:30 会 場:町内の各所(中央公民館等)</p> | |

4. ボランティア活動の推進

住民のボランティア活動への参加促進を図り、地域課題に対して「何か自分にできることはないか」という住民の気持ちをかたちにしてできるきっかけづくり・機会づくりとして、人材育成のためのボランティア養成講座、ボランティア活動の情報提供、ボランティアコーディネート、ボランティア保険加入等の推進に努めました。

[美咲町ボランティアセンターの取組み]

(1)いまこそ！つながろう！美咲の輪！

第1弾企画 みんなの想いをつなげよう♡元気！支えあいメッセージ募集

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、いろいろな活動が自粛されています。そこで、昨年に引き続き町内の皆さんが、元気になれるメッセージを募り、人から人へメッセージをつなぐことで、孤立防止や地域貢献活動につながることを目的とし実施しました。届いたメッセージは美咲町ボランティアセンター掲示板・社協だより・ホームページ・みさきタウンテレビなどで町民の皆さんへメッセージをお届けしました。**届いたメッセージ合計 251 件(令和2年～令和3年)**

みんなの想いをつなげよう♡
元気！支えあいメッセージ

みんな、
ささえあって
ききをのりこえよう！

ぼくの願いは・・・
新型コロナに
負けずたえぬいて
家族一緒に平和に
暮らす・・・ことです。

みんな、
しあわせになれた
らいいな。

みんな
げんきにくら
せますように。
みんなえがおに
なりますように。

みんな、
がんばろう。

コロナに
負けるな

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、いろいろな活動が自粛されている中、町内の皆さんから元気になれるメッセージを募ったところたくさんのメッセージが集まりました。今後も随時掲載しています。(1月11日現在)

社協ホームページ・フェイスブックやみさきTVなどでも紹介していきます！！

(2)第2弾企画 コットンバンク

コロナ禍で、地域で埋もれてしまっている“声”とみなさまのあたたかい気持ちをつなぐ取組みの一つとして、コットンバンクを実施しました。美咲町内で生活にお困りのみなさまへ、提供して頂いたコットン製品をお届けしました。下記の日時以外でも、生活困窮者事業と連携して、必要に応じて生活困窮者に提供しています。

| | |
|------|---|
| 日 時 | 令和3年7月20日(火)・7月21日(水) 10:00～15:00 |
| 場 所 | 美咲町社会福祉協議会 各窓口 ・中央保健センター【原田 2150】 ・旭地区福祉センター【東堺和 190】 ・柵原地区福祉センター【吉ヶ原 862】 |
| 内 容 | ①生理用品 102 個※中学生については、各中学校でも配布しました。 ②大人用紙パンツ(Mサイズ、Sサイズ)・パット 31 個 ③掛け布団・ブランケット 89 個 |
| 対 象 | 美咲町にお住まいの方・生活にお困りのある方 |
| 配布実績 | ①生理用品 64 個 ②大人用紙パンツ(Mサイズ、Sサイズ)・パット 10 個 ③掛け布団・ブランケット 13 枚 |

(3)第3弾企画 イラスト募集

(1)美咲町をイメージするイラスト(2)地域を元気にするイラスト(3)美咲町ボランティアセンターのイメージキャラクターの3つのテーマで募集しました。優秀作品は、第10回美咲町社会福祉大会で表

彰させていただきました。また、広く住民の皆さまにご覧になっていただくために、みんなのアート展示会～わたしの世界 in みさき～にて町内巡回展示会を実施しました。

イラスト応募 作品総数 47 作品

(4)第 4 弾企画 みんなのアート展示会～わたしの世界 in みさき～

赤い羽根共同募金の啓発の取組みである「赤い羽根手作り募金箱」、地域を元気にしたい！をテーマとした「イラスト募集」、芸術活動を通じて、障がいのある方と地域住民が、地域で共に活動できる場として「障害者アート教室」を行なった。この、3 つの取組みで集まった作品による展示会を通じて、「作品に込められた思い」や「地域を元気にしたい」という思いを地域住民に知ってもらい、思いを繋げることができました。

| | |
|-------|---|
| 日時・場所 | 令和 4 年 2 月 21 日(月)～2 月 28 日(月)9:00～17:00 柵原総合文化センター 令和 4 年 3 月 4 日(金)～3 月 11 日(金)9:00～17:00 亀甲郵便局 令和 4 年 3 月 16 日(水)～3 月 23 日(水)10:00～17:00 旭図書館 |
| 出展内容 | ①イラスト募集の作品 47 点 ②手作り募金箱 23 点 ③障がい者アート教室で製作した百々人形 ※蔓延防止等重点措置のため製作が延期となり、展示は行えなかった。 |

(5)災害ボランティアに関する事業

①災害ボランティア養成講座

近年、自然災害で被災した地域では、社協が災害ボランティアセンターの運営にあたり、地域内外のボランティアと共に被災地の復旧・復興に向け被災者に寄り添った支援活動を行うことが一般化してきました。本会においても、いつ起こるかかわからない災害に備え、災害時に必要な被災者支援活動をオール美咲町社協で考えていく必要があることから本年度も講座を企画し実施しました。

| | |
|------------|--|
| 日 時 | 令和 3 年 12 月 26 日(日)13:00～16:00 |
| 場 所 | 美咲町林業センター |
| 参加者 | 町内外のボランティアに関心のある住民、市町村社協職員、町職員、消防団等 計 74 名 第 1 期～第 6 期 99 名(令和 4 年 3 月現在) |
| 内 容 | 「防災をテーマにした地域づくり～西日本豪雨災害から学んだこと～」 「受援力を高めるために」 |
| 講 師 | 総社市清音馬渡連合自主防災組織 防災委員長 佐野 裕二 氏 岡山災害派遣福祉チーム(DWAT) チーム員 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 講師 岡崎 利治 氏 津山みのり学園 理事・施設長 寺坂 弘昭 氏 事務局 岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 橘 哲也 氏 |
| 研修コーディネーター | 日野ボランティア・ネットワーク鳥取県自主防災活動アドバイザー 森本 智喜 氏 |

②災害職員研修会の実施

平常時から災害発生に備えて連携を深めるため、職員研修会を実施しました。併せて、研修会の内容や災害に関するアンケート調査も実施しました。また、地域における公益的な取組みを行なうにあたり、町内3社会福祉法人、8名の職員に参加いただき、関係の構築を図りました。

| | |
|------------|---|
| 日 時 | 令和3年11月15日(月)18:30~20:30 ※9月24日(金)に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期 |
| 場 所 | 旧打穴小学校体育館 |
| 参加者 | 町職員49名、社会福祉法人8名、社協役職員34名、講師4名 計94名 |
| 内 容 | 「受援力を高めるために」 |
| 講 師 | 岡山災害派遣福祉チーム(DWAT) チーム員 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 講師 岡崎 利治 氏 津山みのり学園 理事・施設長 寺坂 弘昭 氏 事務局 岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 橘 哲也 氏 |
| 研修コーディネーター | 日野ボランティア・ネットワーク鳥取県自主防災活動アドバイザー 森本 智喜 氏 |

③他団体との連携強化

令和3年度は岡山県災害派遣福祉チームDWATとの連携を強化しました。

| 日にち | 内 容 |
|-------------------|---|
| 令和2年10月6日 | 中央福祉会職員、経営協副会長より岡山県災害派遣福祉チームの概要と現状の説明、また、美咲町エリアでの活動展開と岡山県災害派遣福祉チーム活動拠点の相談 |
| 令和2年10月8日 | 美咲町へ岡山県災害派遣福祉チームの概要説明(中央福祉会職員同席) |
| 令和3年2月17日 | 美咲町へ岡山県災害派遣福祉チームの概要と現状の説明、また、美咲町エリアでの活動展開と岡山県災害派遣福祉チーム活動拠点への協力要望(岡山県社会福祉協議会事務局職員、中央福祉会職員同席) |
| 令和3年2月19日 | 令和2年度岡山県災害派遣福祉チーム員養成研修(主催:岡山県社会福祉協議会)が岡山市で開催され、中央福祉会職員、美咲町役場職員とリモートで参加 |
| 令和3年7月28日 | 協定締結に向けての最終調整(中央福祉会職員同席) |
| 令和3年11月15日 | 災害職員研修会実施 |
| 令和3年12月26日 | 第6期災害ボランティア養成講座 |
| 令和4年1月18日 協定調印式挙行 | 災害発生時における岡山県災害派遣福祉チーム短期入居施設としての使用に関する協定 |

| | |
|--|--|
| | <p>社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会と美咲町は、岡山県内に自然災害による被害が発生した場合に、岡山県災害派遣福祉チームが町有やなはら住宅の一部を短期滞在可能な住居として使用することで、避難所等の災害時要配慮者に対して、迅速かつ適切な福祉支援が行えるよう支援することを目的に協定を締結する。</p> |
|--|--|

④災害ボランティアセンター運営支援に関する協定

| 日時・場所 | 内 容 |
|---|--|
| <p>日 時:令和4年2月25日(金)10:00～ 会 場:ふれあいセンター2階会議室</p> | <p>災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定式</p> <p>町内において災害が発生した場合に、災害ボランティアセンターを設置し、各種団体・個人の災害ボランティア活動を円滑に実施するため、町及び社会福祉協議会の役割と協力事項等確認し、この度協定を締結しました。</p> <p>近年、災害が頻発化・激甚化する中、災害発生後、復旧・復興に向けた災害ボランティアの活動は重要になっており、災害ボランティアセンターが担う役割も大きくなっています。今後も町と社会福祉協議会は、さらに連携を進めてまいります。</p> |

(6)『ボランティア学習動画～ボランティアスクール～』

昨年度、津山市社会福祉協議会と協働してボランティア活動をもっと身近に取り組んでもらえるために『ボランティア学習動画～ボランティアスクール～』を作成しました。今年度も引き続き子どもから高齢者まで幅広い年代の方にボランティアについて学びを深める機会をつくり、美咲町内全体のボランティア活動の活性化を図るために活用しました。毎年実施している「夏のボランティア体験事業」では、事前学習に十分に時間が取れず、ボランティアについてしっかり学ぶことができないまま、体験を実施していた現状がありました。「学生向けボランティア動画」を作成することで、“ボランティア”とは何かを知ってもらう機会をつくり、ボランティアの意義やボランティアを行う上で重要な自主性、社会性等を伝えていくことができました。

| | |
|-----|---|
| 内 容 | <p>○1 時間目 「ボランティアってなに？」 講 師:NPO 法人ファミリーリングあゆむ 飯田純子さん 出 演 者:美作高等学校 福祉コース2年生</p> <p>○2 時間目 「自分に合ったボランティア」 出 演 者:レインボーメイト津山 智和さん／美作大学ボランティアセンターの学生2名</p> <p>○3 時間目 「相手の立場に立ったボランティア」</p> |
|-----|---|

| | |
|------|--|
| | 協力施設:中央福祉会 白寿荘／津山福祉会 特別養護老人ホーム 高寿園 出演者:美作高校 福祉コース実習生2名／白寿荘利用者／高寿園職員 ○4時間目「ボランティアをしたいと思います」 出演者:美咲町配食ボランティア 村上さん、西本さん 美咲町社協職員／津山市社協職員 |
| 対象 | 津山市、美咲町の中・高生及び夏のボランティア体験事業において毎年呼びかけている鏡野町、久米南町、勝央町、美作市、真庭市の高校生及び美咲町内の住民 |
| 実施方法 | YouTube に動画を投稿し(URL クリック時にのみ見られる設定で限定公開をする。)、URL を津山市社協 HP に掲載することで、チラシに記載している URL から自宅にいても動画を見ることができます。 |
| 受講後 | ボランティアスクール受講後について 「ボランティアノート」に記入後、津山市・美咲町社協及び周知先の社協に提出した学生に対して、修了証をお渡しました。 |

(7) シーズンボランティア 2021【夏・冬】

夏のボランティア体験 2021(施設ボランティア)は、**新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、対象を高校生のみと限定し実施**しました。しかし、受け入れ施設の数が増えたため、施設でのボランティアができなかった**中学生と高校生を対象に手作りの季節作品を施設に届けるという新しい取組みを実施**しました。作品作りに参加した生徒に対し、施設からいただいたありがとうメッセージを冊子にまとめ、配布し直接会えなくてもありがとうがつながるカタチになりました。

《参加生徒》

●施設ボランティア:津山工業高校6名、津山商業高校5名、美作高校・津山東高校各4名、作陽高校2名、津山高校・林野高校各1名 計23名

●作品ボランティア:中央中12名、柵原中11名、津山工業高校・美作高校各2名
林野高校・津山商業高校・勝山高校・津山高校・作陽高校・津山東高校各1名 計33名

《受入施設》

●施設ボランティア:白寿荘、わかくさ児童クラブ、中央児童館、はなまるハウス、かしのき荘、スポレク柵原、吉井川荘 計7施設

●作品ボランティア:エリシウム柵原、ふれあいセンター、柵原東保育園、さやかなる苑、さくらの実、わかくさ児童クラブ、静香園、白寿荘、吉井川荘、柵原西保育園、柵原児童館、ケアハウス百壽、中央かめっこ保育園、さつきの丘、かしのき荘 計15施設

【シーズンボランティア～冬 ver.～】

夏のボランティア体験 2021 で実施した作品ボランティアを引き継ぐ形で、町内の中学生と小学生のジュニアボランティアを対象に、年賀状と節分の作品づくりのボランティアを実施しました。夏と同様、施設からのありがとうメッセージを冊子にまとめ、終了証と一緒に配布しました。

《参加生徒》

中央中5名 柵原中1名 柵原西小(ジュニアボランティア)3名 計9名

《受入施設》

白寿荘、十字園デイサービス、わかくさ児童クラブ、あさひが丘特養、あさひが丘デイサービス、静香園、ふれあいセンター、かめっこ保育園、さやかなる苑、さくらの実、ケアハウス百壽、柵原東保育園、柵原西保育園、かしのき荘、吉井川荘、エリシウム柵原 計16施設

(8)第3期ジュニアボランティア養成講座

ボランティア活動に関心のある小学生(4年生～6年生)を対象に、本講座から地域でボランティアとして何ができるかを共に考え、また実践的ボランティア活動の機会を設け、身近な地域での自主的なボランティア活動につなげることができました。また、社会福祉についての理解を深めると同時に、様々な出会いの中から新たな発見や「ともに生きていく」ということについて考えることができるようその機会を提供に努めました。(1期生9名/2期生5名/3期生2名)

| 日時 | 場所 | 内容 |
|-----------------------------------|-------------------|---|
| 令和3年 11月23日(火)祝 10:00～15:00 | ふれあいセンター | 【第1回】 第1回目の講座では、NPO法人ファミリーリングあゆむの飯田純子さんに「ボランティア」について、レクリエーションを交えながら楽しく教えていただきました。さらに、美作ろうあ協会の山本修さん山本知枝子さんから「聴覚障がい」についての理解を深めるために、手話や口話などの多様なコミュニケーション方法を学び、実際に体験することができました。 <u>受講者6名(うち2期生4名参加)</u> |
| 令和4年 3月12日(土) 13:00～16:00 | みさきタウンテレビ スタジオ | 【第2回】 3月12日(土)にみさきタウンテレビのスタジオで、「聴覚障がい」の理解を広めるための紙芝居の読み聞かせボランティアに挑戦しました。初めてのスタジオで、楽しみの反面ドキドキの様子でしたが、いざ、本番になると、みんなしっかり読むことができ、皆さんに「聴覚障がい」について知ってもらい理解してもらいたいという想いが詰まった内容になりました。 ☆この紙芝居の絵は、高校生ボランティアの福島愛さんに描いていただきました。 ☆この紙芝居の物語はフィクションです。 ☆物語は町内在住で美作ろうあ協会の山本修さん、知枝子さんに監修していただきました。 <u>受講者6名(うち2期生4名参加)</u> |

ももたろう

～聴覚障がいのある山本さんと
ゆかいな4人の仲間たち～



(9)ボランティア活動のコーディネート状況

| 登録者数 | 活動件数／活動者数 |
|-------------|--------------------|
| 登録者数は再度見直し中 | 福祉教育ボランティア 4 件／6 名 |

(10)ボランティア保険加入状況

| 種別 | 加入団体数 | 加入者数(被保険者数) |
|-------------|-------|-------------|
| ボランティア活動保険 | 24 団体 | 1,131 人 |
| ボランティア行事用保健 | 11 団体 | 405 人 |
| 送迎サービス補償 | 0 団体 | 0 人 |
| 福祉サービス総合補償 | 1 団体 | 675 人 |

5. 福祉教育の推進

人を思いやり、お互いに支えあい・助け合う心を育み、自分と違う立場の人と認め合い、人の気持ちに共感できる力や自分の考えを表現する力、考えを共有し実行につなげていく力等の「ともに生きる力」をつけていく意識の醸成に努めました。

(1)小学校福祉教育

| 日時 | 実施学校 | 対象 | 内容 |
|---------------------------------|----------------|-----|---|
| 令和3年 11月18日(木) 8:30～10:10 | 美咲中央小学校 22名 | 4年生 | ①認知症サポーター養成講座 ゲストティーチャー:南劇団の皆さん ※地域包括支援センター協働 |
| 12月8日(水) 8:30～10:30 | | | ②肢体不自由について学ぼう ゲストティーチャー:藤本満春さん |
| 令和4年 1月31日(火) 10:30～12:00 | | | ③聴覚障がいについて学ぼう ゲストティーチャー:山本修さん、山本知枝子さん |
| 2月9日(水) 10:30～12:00 | | | ④視覚障がいについて学ぼう ゲストティーチャー:阿部磨呂さん |

(2)福祉教育に関する研修会及び報告会

| | |
|-------|-------------------------|
| 名 称 | 福祉教育担当者研修会 |
| 開催日時 | 令和3年10月22日(金)9:30～11:30 |
| 場 所 | Zoom |
| 対 象 | 美咲町社協職員・吉備中央町社協職員 |
| 協 力 者 | 青木将幸ファシリテーター |

| | |
|-----|--|
| 内 容 | 福祉教育担当者の悩みを近隣社協の担当職員さんと意見交換することで、新たな気づきを得る機会となりました。また、アドバイザーとして青木さんに美咲町の現状を知っていただき、「ファシリテーションのスキル」や「柔軟な福祉教育の実践」についてご助言をいただくことができました。 |
|-----|--|

| | |
|---------|---|
| 名 称 | 福祉教育担当者報告会 福祉教育実践発表 |
| 開 催 日 時 | 令和4年3月8日(火)13:30～16:30 |
| 場 所 | 岡山県社会福祉協議会 |
| 対 象 | 市町村社協職員 等 |
| 協 力 者 | シチズンシップ共有企画川中大輔氏・ノートルダム清心女子大学准教授青山新吾氏・有田市社会福祉協議会宮本朋子氏 |
| 内 容 | 他機関協働による福祉教育プログラム企画支援事業に取り組んだ3社協(新見市・吉備中央町・美咲町)の実践発表を行いました。成果・課題・気づき等出し合っていたいただき、次年度に向けてよい良い参考になりました。 |

(3)地域に根付いた福祉教育の実践

「福祉教育＝学校」という考え方ではなく、地域福祉は福祉教育で始まり、福祉教育で終わるとの言葉どおり、学校にとどまらず、地域・家庭・施設にも目を向け、美咲町社協が実施する事業と連携しながら、福祉教育を実践しました。

(4)福祉教育プログラムの作成

①美咲流(地域版・学校版)福祉教育プログラム作成しました。(令和3年度は障がい分野完成)

※令和4年度以降高齢者・児童・認知症・ボランティア等作成予定

6. 子育て支援事業

地域のふれあいサロン活動と同様に子育て世代の居場所の活動や子育て支援事業は、従来の進め方では対応が難しい状況が続いています。新型コロナウイルス感染拡大の状況の中で、「みさきおやこひろば『ほっと・るーむ』」の開催は今年度見も合わせとなりました。

現在美咲町には子育て世代の居場所は「ひよこクラブ」「わんわんクラブ」がありますが、そこには他のふれあいサロンと同様に『新型コロナウイルス感染症対策 ふれあいサロン開催の手引き』を配布するなど、情報発信に努めました。

その他子育て情報の発信の仕方については、「ほっと・るーむ運営委員会」をはじめ、他の事業や会議の際に子育て世代の意見の収集に努めており、今後の情報発信に活かしていきます。

7. 社会福祉大会の開催

社協の活動理念のもと子どもから高齢者・障害者等、誰もが生き活きと暮らすことができる共生の地域づくりに努め、社会福祉の向上にご尽力された方を顕彰し感謝の意を表すため、「第10回美咲町社会福祉大会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症感染者が増加傾向にあり、感染拡大への警戒が必要な状況であることから、出来得る限りの感染対策を行い、規模を縮小し顕彰のみ執り行いました。健康面・安全面を考慮し、表彰関係者・社協役職員のみ参加としました。

日時:令和3年10月3日(日) 13:00～14:00

場所:美咲町林業センター

式典:美咲町社会福祉協議会会長表彰他

※講演はコロナウイルス感染拡大防止のため中止

講演:『地域共生社会に向けた地域福祉・地域づくり』

講師:美作大学社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔 氏

8. 共同募金事業の推進

美咲町共同募金委員会の行う共同募金への運動及び配分助成事業を計画に沿って行う中、戸別募金の減少傾向に歯止めをかけ、募金活動を活性化するために、各種事業を展開しました。また、地域福祉の推進を目的とする共同募金に住民理解を得られるよう、募金手法や配分助成事業の公募・助成審査・決定に関する情報の開示、集められた募金の使途の明確化等、各種事業の機会を活用して住民と顔を合わせながら伝えるよう努めました。

(1)美咲町共同募金委員会運営委員会及び審査委員会

| | 開催日時 | 協議内容 |
|----------------|---------------------------------|--|
| 監査 | 令和3年 5月24日(月) 15:00~16:00 | ・令和2年度共同募金事業報告・決算、監査 |
| 運営委員会 (第1回) | 6月2日(水) 15:10~16:00 | ・令和2年度共同募金事業報告・決算、監査について |
| 運営委員会 (第2回) | 6月18日(金) 15:30~16:00 | 岡山県共同募金会 美咲町共同募金委員会運営委員会の 会長、副会長の選定について 美咲町共同募金委員会「審査委員会」の委員の選任について |
| 交付式 | 8月20日(金) 14:40~15:00 | ・令和3年度赤い羽根共同募金助成交付式 交付団体:美咲町介護者の会 ※6月2日(水)延期 |
| 運営委員会 (第3回) | 8月20日(金) 15:10~16:40 | ・令和3年度赤い羽根共同募金運動の推進について 赤い羽根共同募金運動の展開について 赤い羽根共同募金運動の事務処理について 美咲町共同募金助成公募(令和4年度分)について |
| 審査委員会 | 令和4年 3月4日(金) 13:30~15:30 | ・美咲町共同募金委員会審査委員長選任について ・令和4年度赤い羽根共同募金助成事業助成審査について |
| 運営委員会 (第4回) | 3月14日(月) 15:10~16:40 | (報告) ・令和4年度 赤い羽根共同募金助成事業助成審査結果に ついて (議案) ・令和4年度赤い羽根共同募金配分助成計画案について ・令和4年度赤い羽根共同募金事業計画について |

(2)赤い羽根共同募金 募金運動について

10月1日から12月31日を運動期間として、各種募金運動を展開しました。

赤い羽根募金の実績 (単位:円)

(目標額 2,390,000)

| 募金種別 | 金額 |
|--------|-------------|
| 戸別募金 | 1,578,950 円 |
| 職域募金 | 234,300 円 |
| 企業募金 | 487,184 円 |
| イベント募金 | 234,405 円 |
| その他の募金 | 281,176 円 |
| 計 | 2,816,015 円 |

歳末たすけあい募金の実績 (単位:円)

(目標額 1,500,000)

| 募金種別 | 金額 |
|--------|-------------|
| 戸別募金 | 1,458,750 円 |
| その他の募金 | 44,431 円 |
| 計 | 1,503,181 円 |

| 募金運動 | 主な募金方法、募金ボランティア |
|---------------------------|---|
| 共同募金運動 (期間:10/1~12/31) | <ul style="list-style-type: none"> ・戸別募金(常会長、連絡協力員による。世帯を対象) ・職域募金(職員を対象) ・企業募金(企業を対象) ・イベント募金(各種イベントによる) ・その他募金(募金箱、笑顔のお届け便、募金グッズ等) |

募金にご協力いただきました企業さま(109 企業)

| | | | |
|-----------------|------------------|---------------------|----------------------|
| 森 田 商 店 | 株式会社旭石油店 | 有限会社遠藤建設 | 高田モータース |
| あいでんフジワラ店 | 理 容 島 田 | 旭生コン株式会社 | まきばの館レストラン |
| 石井善二郎商店 | 大 崎 商 店 | アサヒ防災工事株式会社 | 江与味製材株式会社 |
| 旭木材株式会社 | 石原 歯 科 医 院 | 株式会社ナカツカ | 有限会社 丸美屋 |
| 桃太郎商事株式会社 | 有限会社美咲ファーム | 有限会社イワサキストア | アトム電器美咲店 |
| 本 田 事 務 所 | お ぎ フ ォ ト | 亀 乃 甲 診 療 所 | 関 医 院 |
| みさきのたね | オクデヤ運送株式会社 | アルスヘアー | タイラファイナンシャルパートナー |
| にぎわい市場三金や亀甲店 | 有限会社八田鉄工所 | 池 上 美 容 室 | テクノス株式会社 |
| 株式会社鈴鹿製材所 | 有限会社日神山内装 | 日本緑研株式会社 | 有限会社美絹糸院 |
| 美咲町物産センター | 株式会社 オーエスエー | 株 式 会 社 P I C | 特定非営利活動法人やまさくら さくらの実 |
| 株式会社亀甲マイカーセンター | 株式会社 久米観光バス | 有 限 会 社 三 協 緑 産 | 岩 野 不 動 産 |
| 有限会社山一製作所 | 有本観光バス株式会社 | 村 上 オ ー ト セ ン タ ー | 中央アルミ工業株式会社 |
| ボーンズ株式会社岡山工場 | 有限会社内田石材店 | つ る や 呉 服 店 | 有 限 会 社 坂 手 商 店 |
| 株 式 会 社 中 央 建 設 | 株式会社中央ブチカントリークラブ | 小 島 梨 園 | 理 容 た い ら |
| ザ・オークレットゴルフクラブ | 農事組合法人 アグリモモ人安味 | 株式会社ミヅカ 美咲ブルーファーム寒竹 | ハリキ精工株式会社岡山工場 |
| ケアハウス百寿 | 株式会社マルケイ工業 | 山 下 ぶ ど う 園 | 有 限 会 社 寒 竹 建 設 |
| 株式会社タケチ柵原工場 | 株式会社寒竹工務店 | や さ い 畑 | 有 限 会 社 アイ ミ ッ ク |
| 株 式 会 社 下 山 組 | 高山産業株式会社 | 日 本 興 業 株 式 会 社 | 株 式 会 社 野 上 石 油 店 |
| 柵原オートセンター株式会社 | 有 限 会 社 稻 冢 石 材 | 株 式 会 社 ヒ カ リ テ ッ ク | 田 口 医 院 |
| 有 限 会 社 脇 石 油 店 | 松尾設備工業株式会社 | 有 限 会 社 直 原 商 会 | K i t o B i t o |
| 有限会社トラヤランドリー | 有限会社鈴鹿モータース | ス ー パ ー ひ と み | 石 戸 歯 科 医 院 |
| 株 式 会 社 戸 板 組 | つ ぼ や | 有 限 会 社 山 荘 や な は ら | |
| 有限会社柴原石油店 | 株式会社デイサービスみさき | 株式会社大阪合成有機化学研究所 | DOWAエフテック株式会社 |
| 有 限 会 社 昭 和 堂 | 医療法人三憲会 柵原病院 | 株式会社トンボ美咲工場 | タ ナ カ 美 容 室 |
| H a i r L e a f | 株式会社月の輪建設工業 | 有 限 会 社 万 代 土 建 | 鳥 越 建 具 店 |
| 有限会社壺阪自動車 | 有 限 会 社 梶 尾 建 設 | 卵根倉鉱業株式会社西部事業所 | エコシステム山陽株式会社 |
| 株 式 会 社 脇 木 工 | 株 式 会 社 シ ー モ ス | み ど り ホ ー ム | 有 限 会 社 有 機 商 事 |
| 菊井歯科医院 | 障がい者支援施設さやかなる苑 | | |

(3)共同募金活動の充実

手づくり募金箱大募集！！～わたしのまちの赤い羽根募金箱～

共同募金のしきみを見える化するため、子ども、障がい者施設・団体、高齢者施設、サロンなど幅広い世代へ手づくり募金箱の募集を行いました。10月から始まる共同募金運動にて各種の機会（イベント、法人、職域等）にて活用させていただきました。また、第10回美咲町社会福祉大会にて優秀作品を表彰させていただいたり、広く住民の皆さまに募金箱をご覧になっていただくために、みんなのアート展示会～わたしの世界 in みさき～にて町内巡回展示会を実施したりしました。

（応募募金箱 23点 手作り募金箱への募金額 29,405円）

募金箱の設置にご協力いただいた企業・公共施設のみなさま

ビューティーサロン・カゲヤマ、美咲物産、美咲警察署、JA晴れの国岡山（中央支店）、にぎわい市場三金や亀甲店、株式会社ナカツカ、美咲町物産センター、株式会社亀甲マイカーセンター、株式会社久米観光バス、亀甲駅、オクテヤ運送株式会社、東伸金属株式会社、株式会社脇木工、北和気郵便局、JA晴れの国岡山（柵原支店）、ハリキ精工株式会社岡山工場、農事組合法人アグリモモ人安味、エコシステム山陽株式会社、やさい畑、卯根倉鋳業株式会社西部事業所、まきばの館レストラン、役場本庁舎、旭総合支所、柵原総合支所、中央保健センター
(順不同)

(4)新たな募金グッズ制作及び募金実績向上につながる事業の展開

募金の使途や地域への還元のしきみをより幅広い世代へ周知し、また募金実績向上につながることを目的に、新たな募金グッズを制作し、寄付者の開拓に努めました。

〔共同募金グッズ〕

みしゃモンオリジナルトートバッグ／みしゃモンお守り(さくらの実とのコラボグッズ)

みしゃモンオリジナルボールペン／みしゃモンブロックメモ／みしゃモン不織布マスク(大人・子ども)／マスキングテープ／木製アニマルストラップ(木工ボランティア)／木製鉛筆立て(木工ボランティア)／干し芋(はなまるハウス)／ドライフラワー(ほっとスペースすみれ)／クマさんクッキー(ワークみさき) など

(5)支えあい活動の支援

住民が自発的に行う社会貢献活動を支援するため、ボランティア団体やNPO法人が行う福祉活動等に対し公募方式により助成を行いました。また、美咲町共同募金委員会の行う共同募金運動及び配分助成事業を計画に沿って実施しました。

(6)災害見舞金と災害義援金への協力

美咲町内で、火災等で被災した住民に対し災害見舞金を支給しました。また、国内での自然災害等が発生した場合、岡山県共同募金会と連携のもと義援金の募集等に努めました。

(美咲町共同募金委員会より見舞金 0件／岡山県共同募金会より見舞金 2件)

9. 社協会員の加入促進

社協の地域福祉事業活動の推進の財源として活用し充実に努めました。

| 普通会員 | | | 特別会員 | | | ふるさと会員 | | |
|------------|---------|-----|------|---------|----|--------|----|----|
| 件数 | 金額 | 口数 | 件数 | 金額 | 口数 | 件数 | 金額 | 口数 |
| 285 | 398,000 | 398 | 57 | 228,000 | 76 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 626,000 | | | | | | | | |

(2)生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で生活を継続していくために、高齢者の日常生活における生活支援・介護予防について、多様なサービスの提供体制など基盤整備を構築するため、地域において支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して、支援体制の充実・強化に努めました。

住み慣れた地域で生活を継続していくために、高齢者の日常生活における生活支援・介護予防について、多様なサービスの提供体制など基盤整備を構築するため、地域において支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して、支援体制の充実・強化に努めました。

1. 生活支援に関する情報収集と課題把握、多職種との連携

① 小地域ケア会議をはじめとする地域包括ケアシステムを構築している会議への参加

(1)小地域ケア会議 地域福祉事業 P.9 参照

(2)地域ケア会議・地域包括ケア会議

| 地域 | 中央地域 | 柵原地域 | 旭地域 |
|----|---|------------------------|--------------------|
| 月日 | 令和3年7月26日(月) | 令和3年7月28日(水) | 令和3年7月30日(金) |
| 会場 | 中央保健センター 大講義室 | 柵原総合文化センター 大ホール | 旭町民センター 大会議室 |
| 時間 | 13:30～15:30 | 13:30～15:30 | 13:30～15:30 |
| 内容 | <p><u>テーマ</u> 「子どもから高齢者までの幅広い世代が地域全体で見守り・見守られることができる地域づくり」 【発表地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打穴西地区(中央)「生活支援サポーターを中心とした見守りのしくみ」 ・旭見まわり隊(旭)「見まわり隊による見守り活動について」 ・小瀬地区(柵原)「救急安心カードによる見守り活動について」 | | |
| 地域 | 旭地域 | 中央地域 | 柵原地域 |
| 月日 | 令和3年11月2日(火) | 令和3年11月5日(金) | 令和3年11月9日(火) |
| 会場 | 旭町民センター 大講義室 | 旧打穴小学校体育館 (現 さくらの実) | 柵原総合文化センター 大ホール |
| 時間 | 18:30～20:00 | 18:30～20:00 | 18:30～20:00 |
| 内容 | <p><u>テーマ</u> 「子どもから高齢者までの幅広い世代が地域全体で見守り・見守られることができる地域づくり」 ～パート2～</p> <ul style="list-style-type: none"> ★見守りに関する地域課題を具体的に整理する。 ★事例をとおして「どのような見守り」の方法があれば地域全体で支えることができるのかを考える。 ★町内外の先進地事例を紹介する。 <p>生活支援コーディネーターと包括の保健師協働で発表する。</p> | | |

| | |
|----------|---|
| 地域包括ケア会議 | 【第1回 8月 地域ケア会議の報告】 【第2回 12月 地域ケア会議からの提言】 【第3回 3月 ※書面決議】 |
|----------|---|

以上の会議に参加もしくは参加した地域担当との情報共有を行い、地域にある生活ニーズの把握に努めました。

② ボランティアセンターとの連携と情報共有

美咲町内にある生活支援に関係する社会資源の情報収集と情報共有を行い、社会資源の見える化に向けて検討を行いました。

③ 各専門職や行政機関が連携を行う場への参加

(1)介護・医療連携協議会の部会への参加(毎月第2水曜日開催)

多職種・行政機関との連携を図るため介護・医療連携協議会の部会に参加し、各活動状況の報告を行なった他、活動の中から見えてきた課題の共有・協議を行いました。※新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止となった会もあります。

(2)地域ケア個別会議への参加(毎月開催 4月、5月、9月、1月、3月に参加)要支援者に対する支援の検討、現在ある社会資源の活用方法の検討を行うため地域ケア個別会議に参加しました。

(3)地域課題共有会議への参加(6月、9月、11月、2月に参加)

地域にある課題の解決に向け、地域みらい課が行う地域課題共有会議に参加しました。

(4)生活支援コーディネーター定例会への参加

普段からの情報共有に加え、定期的に事業の進捗状況や今後の計画を協議するための会議に参加しました。

④ 地域の中で行われる会議等への参加

新型コロナウイルスの流行に伴い、地域の中での総会等の開催が中止・縮小したことから総会等への参加はありませんでしたが、防災会議等への参加や自治会長をはじめとした地域の役員の方と情報共有を行い情報収集に努めました。

2. 美咲町全体の生活支援体制整備のサービスの資源開発を推進

① 配食サービスの普及、配食ボランティアの育成

(1)美咲町配食サービス事業の推進

さやかなる苑とかしのき荘と協働して配食ボランティアの活動支援を行いました。(12/10~かしのき荘の利用は停止しています。)その他、近隣市町で配食事業を行なっている配食事業者と美咲町内での事業展開に向けての情報共有を行いました。

【さやかなる苑配食サービス実績】

| | |
|-----------|--|
| 配食ボランティア数 | 16名(サポーター及び、配食見守りボランティア登録者) |
| 食数 | 1日5食まで(夕食のみ) |
| 配食範囲 | さやかなる苑より15分圏内(吉岡地区、藤原まで) |
| 配食可能日 | 月曜～金曜日 |
| 自己負担(弁当料) | 400円(配食利用者が負担、さやかなる苑が直接集金) |
| サポーターへの報酬 | サポートふ・く・しのポイント制を利用 財源は町の配食事業を活用し1件あたり500円 100円はさやかなる苑の事務費、400円はポイントでサポーターへ社協から渡している。 |
| 実績数 | 599回 |

【かしのき荘配食サービス実績】

| | |
|-----------|----------------------------|
| 配食ボランティア数 | 5名(サポーター及び、配食見守りボランティア登録者) |
| 食数 | 1日5食まで(昼食のみ) |
| 配食範囲 | かしのき荘より15分圏内 |
| 配食可能日 | 月曜～土曜日 |
| 自己負担(弁当料) | 400円(配食利用者が負担、かしのき荘が直接集金) |
| サポーターへの報酬 | さやかなる苑と同様 |
| 実績数 | 75回 |

(2) サポートふ・く・し事業を活用しての買い物支援・安否確認

旭地域ではサポートふ・く・し事業を活用し、みち停あさひから利用者宅へお弁当を届ける買い物支援の形で配食ボランティアの活動を行いました。

【サポートふ・く・しを活用した配食ボランティア活動実績】

| | |
|-----------|---|
| 配食ボランティア数 | 7名(サポーター及び、配食見守りボランティア登録者) |
| 食数 | 3食まで(昼食のみ) |
| 配食可能日 | 月曜～日曜日 |
| 自己負担 | 400円～450円(お弁当代)＋サポートふくし料 |
| サポーターへの報酬 | サポートふ・く・し事業要綱に沿って計算 10分/100円＋交通費をサポーターへポイントで社協から渡している。 |
| 実績数 | 60回 |

② 通いの場立ち上げ支援・運営支援

<支援内容>

- ・地域・団体の状況に沿い、介護予防の取組みが行えるよう支援者と協議
- ・自主的な活動の立ち上げが行えるための相談支援
- ・通いの場の運営についての相談支援
- ・県や町からの注意喚起、感染症予防対策の啓発
- ・継続して開催を行なっている場所に対する運営支援
- ・月に1回程度巡回し、参加者の生活状況・ニーズ把握

| 地域 | 団体名 | 会場(地域) | 開催曜日 | 備考 |
|----|----------|---------------------|-------|------------------------------------|
| 柵原 | 八神・塚角元気村 | 塚角コミュニティハウス | 毎週火曜日 | |
| | 高下通いの場 | 高下公会堂 | 毎週水曜日 | |
| | 飯岡地区通いの場 | 晴れの国岡山農業協同組合 飯岡支店跡地 | 毎週金曜日 | 令和3年度よりJAの鍵については、地域の方が使用できるようになった。 |
| | さつき通いの場 | 久木コミュニティハウス | 毎週金曜日 | |

| | | | | |
|----|---------------------|------------------------------|--|-----------------|
| | 南和気通いの場 | 南和気コミュニティハウス | 毎週木曜日 | |
| | 北和気健康の集い | 北和気コミュニティハウス／羽仁公会堂 | 毎月第2・4月曜日 10:00～ 毎月第1・3 火曜日 10:00～ | 介護予防交流 活性化事業 |
| | スポレク柵原 | 柵原総合支所 | 毎週水曜日 10:00～ | 介護予防交流 活性化事業 |
| 中央 | 錦織通いの場 | 錦織ふれあい館 | 毎週月曜日 毎月第4木曜日 | |
| | 打穴上通いの場 | 打穴上集会所 | 毎週火曜日 | |
| | 打穴通いの場 | 打穴西公会堂 普光寺 | 毎月第1金曜日 (ワンデイカフェ) 第2・4火曜日 (コロバン体操) 毎月第3火曜日 (写経) | |
| | 打穴北通いの場 | 大谷コミュニティ 定国公会堂 秋政公会堂 | 毎週水曜日 | |
| | 大坪和通いの場 | 大坪和老人憩い の家／大坪和ふ れあいプラザ | 毎週金曜日 | |
| 旭 | 栃原通いの場 | 揚名会館 | 毎週水・土曜日 | |
| | 上口通いの場 | 上口公民館 | 毎週水曜日 | |
| | 西川健やかクラブ | 西川コミュニティ センター | 毎週月曜日 | |
| | みなみ通いの場 | 南公民館 | 毎週土曜日 | 令和3年度開催 なし |
| | 坪和元気ハツラツ 通いの場協議会 | 坪和コミュニティ センター | 毎週水曜日 | |
| | 西坪和通いの場 | 西坪和公民館 | 毎週火曜日 | 令和2年度～開 催なし |
| | 江与味にここにこ会 | 江与味コミュニテ ィセンター／友楽 館 | 毎週月・金曜日 | |
| | 6時だよ全員集合 | 滝の畝公民館 | 毎週土曜日 | |

③ふれあいサロンの立ち上げ支援・運営支援

地域福祉事業 P.10 参照

④その他新規資源開発の検討

(1)コロナ体操 2020 のポスター作成 (A3 サイズと B2 サイズ)

現在の地域の中にある社会資源の状況や居場所の状況を、定期的に保険年金課担当者と共有を行いながら必要となる社会資源の検討を行いました。コロナ禍によりサロン・通いの場などの介護予防に取組む機会や外出の機会が減っている中で、自宅でする介護予防取組みの推進として、令和2年度に【コロナ体操 2020】の動画作成を保険年金課・健康推進課と協働し行いました。作成した【コロナ体操 2020】の動画に関しては、美咲テレビで放送している他、令和3年度から希望する通いの場・ふれあいサロン等の団体に配布を行なっています。併せて、DVD 再生機器がない居場所に関しては、ポスター配布を行なっています。

3. ネットワークの構築(1層、2層協議体)

① 1層(美咲町全体)協議体でのネットワークの構築

美咲町生活支援・介護予防協議体に参加し、美咲町内の社会資源についての情報提供を行ないました。※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりました。

② 2層協議体でのネットワークの構築

令和4年度の開催に向けて、2層協議体のメンバー構成、開催方法等検討を行いました。

4. 住民へ支援のニーズと資源の見える化(広報)を図り、支えあいの雰囲気醸成

①社会資源リストの作成

社会資源リストの作成に向け、把握している社会資源の整理、各活動の状況把握を行いました。(令和4年度完成予定)その他、新規資源の把握に努めました。

②住民主体の福祉活動フォーラムや交流会フォーラムの開催を支援する。

フォーラムの開催は難しかったため、社協事業と連携を行い、【ちいきふくし活動新聞】にて各地域の福祉活動の紹介と他地域への啓発に努めました。

5. 研修会等への参加(コーディネーター1層・2層の資質向上や、情報交換等)

(1)『令和3年度 生活支援コーディネーター基礎研修』

参加日時:令和3年7月13日(火)13:30~16:45

参加方法:オンライン(ZOOM)

内 容:1. 講演 テーマ「地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業

～基本理念・生活支援コーディネーターの役割～」

講師 中国四国厚生局健康福祉部 地域包括ケア推進官 岸 英二

2. グループワーク テーマ「明日からの活動に活かしたいこと」

中国5県の生活支援コーディネーターや生活支援体制整備事業担当職員などによるグループワーク

(2)『令和3年度 生活支援コーディネーター情報交換会』

参加日時:令和3年12月6日(月)10:00~12:00

参加方法:対面(津山市総合福祉会館)

内 容:生活支援コーディネーターとして普段どのような業務を行っているか、どのような課題があるかについてグループワークを行なった。

6. サポートふくしについて

美咲町社会福祉協議会が、少子高齢化や核家族化・単身化が問題視される中、見守り・ちょっとしたお手伝いや相談を地域に関わるすべての人・団体の力を借り、またそれらの力を活かし、すべての地域住民が、お互いの支えあいのもと、安心して暮らせる地域づくりに努めました。

①生活支援サポーター数

| | | | | |
|------|---------|--------|-------|--------|
| 登録者数 | 中央 100名 | 柵原 83名 | 旭 58名 | 計 241名 |
|------|---------|--------|-------|--------|

②活動回数

(1) 契約訪問について

買い物付き添い〈1件2回〉生活支援(ごみ捨て・草取り等)〈3件58回〉

買い物支援〈2件60回〉 ※うち令和3年度新規利用は2件ありました。

(2) サポートふくしのコーディネートについて

サポーターと利用者がうまく支援が展開できるように、必要に応じて、地域支援会議や個別会議などを行いました。また、新規・継続ともに生活支援サポーターが円滑に活動を行えるよう相談支援を行なった他、新型コロナウイルス感染症対策としてフェイスシールド・手指消毒液の配布と、安全に活動を行ってもらうため、「生活支援サポーター活動の手引き」の配布を行いました。

③サポーター会合の推進

地域で活動する生活支援サポーター同士が情報交換を行い、円滑に活動が行えるようにサポーター会合の推進に努めました。

| 打穴西地区 | | 原田地区 | |
|-------|------------------------------|-------|-----------------------|
| 開催回数 | 4回 | 開催回数 | 3回 |
| 参加延人数 | 100人 | 参加延人数 | 15人 |
| 内 容 | 地区の活動状況について 気になる方の見守り情報交換 | 内 容 | 各地区の気になる方の見守り 情報交換 |

④生活支援サポーター養成講座及びフォローアップ講座の開催

新型コロナウイルスの影響により2月の開催を延期しておりましたが、3月に開催することができました。総勢16名の方に参加していただき、この度新しく12名の生活支援サポーターが誕生しました。

(1)開催日時 〈第1回目〉令和4年3月19日(土)13:00～16:00

〈第2回目〉令和4年3月22日(火)13:00～16:00

(2)開催場所 〈第1回目〉ふれあいセンター

〈第2回目〉中央保健センター

(3)内 容 〈第1回目〉サポートふくしについて(講師:社会福祉協議会)

傾聴について(講師:美作大学堀川涼子教授)

ヤングケアラー・ダブルケアについて

(講師:美作大学小坂田研究室 三本そらさん・福田美波さん)

〈第2回目〉認知症について(講師:地域包括支援センター)

障がいの理解について(講師:みしゃモンカレッジ長松岡博史氏)

権利擁護について/見守りに関して(講師:社会福祉協議会)

(3) 権利擁護事業・生活困窮者自立支援事業

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で人と会ったり集まったりする機会が減少する中、問題を抱えている人とのつながりが切れぬよう意識しながら支援に努めました。

また、従来の地域福祉事業に加え、美咲町地域包括支援センター事業、生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者家計改善支援事業との連携の中で、あらゆる世代への総合相談と層の厚い支援に努めました。特に、障害や病気のみならず、就労できない、他人との交流が苦手など生きづらさを抱えた世帯への支援を福祉、司法関係の機関や地域との連携の中で検討することができるように努めました。

1. 美咲町権利擁護センター事業(受託事業)

- ① 運営委員会開催 5月17日(月) 感染拡大防止のため中止し、書面決議
7月20日(火) 15:30～16:30
3月15日(火) 13:30～14:30
- ② 支援検討委員会開催 4回開催 奇数月第3火曜日 13:30～15:00
(感染拡大防止のため2回中止)
支援検討件数 5件(内 成年後見制度利用へ 2件)

③ 年間相談件数

| 分類 | 電話相談 | 来所相談 | 訪問 (他機関同行) | 支援会議 | 同行支援 |
|---------|------|------|---------------|------|------|
| 認知症等高齢者 | 152 | 19 | 99(7) | 6 | 2 |
| 知的障がい者等 | 344 | 61 | 63(2) | 7 | 17 |
| 精神障がい者等 | 153 | 13 | 81(1) | 3 | 2 |
| その他・不明 | 0 | 0 | 1(1) | 1 | 0 |
| 合計 | 649 | 93 | 244(11) | 17 | 21 |

内新規相談 3件

2. 日常生活自立支援事業・成年後見制度意見交換会

権利擁護に関する情報交換、事例検討等を行いました。

10月は金融機関との情報交換会を実施しました。(ゆうちょ銀行・中国銀行)

(単位：人)

| 開催月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 参加者数 | 20 | 19 | / | 20 | 14 | / | 28 | 12 | 15 | 14 | / | 12 |

3. 権利擁護講座(市民後見人・生活支援員合同研修会)

意見交換会内で以下の講座(市民後見人・生活支援員合同研修会)を実施しました。

| 月日 | 内容 | 講師 | 参加人数 |
|----------|--------------------|---------------|------|
| 4月13日(火) | 「美咲町権利擁護センターについて」 | 地域福祉課 春名 | 20人 |
| 5月11日(火) | 「生活保護について」 | 福祉事務所 田口 優人 氏 | 19人 |
| 7月13日(火) | 「身上監護(意思決定支援)について」 | 社会福祉士 森 亮介 氏 | 20人 |
| 11月9日(火) | 「対人援助技術について」 | 社会福祉士 梶原 好恵 氏 | 12人 |

4. 日常生活自立支援事業の促進

福祉サービスに関する情報提供、助言、手続きの援助、日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行い、自立した日常生活が送れるよう支援をしました。事業実施にあたり成年後見制度への移行や福祉サービス利用内容の変更等に対応するため、他機関との連携と生活支援員への報告・連絡体制の充実に努めました。

【利用状況】

(単位:人)

| | 認知症 | 知的 障害者 等 | 精神 障害者 等 | 合 計 | ※参考 内生活保護受給者 |
|----------------|-----|----------------|----------------|-----|-----------------|
| 令和3年度 新規契約者 | 4 | - | - | 4 | - |
| ※解 約 | 1 | 1 | - | 2 | - |
| 合計利用者 | 5 | 4 | 3 | 12 | 1 |

生活支援員 登録者数 8人

5. 法人後見事業(5件)

支援検討委員会において、美咲町社会福祉協議会の受任がふさわしいケースと認められ、家庭裁判所から審判を受けました。本人の思いに添った支援ができるように、他機関と連携のもとに後見活動に取り組んでいます。

・施設入所しB型作業所に通う知的障害の30代男性について、令和元年10月1日 市民後見人との複数後見の審判があり、父親や施設との連絡調整を行い、安心して生活を送れるよう支援しました。

・介護者である妻の突然死により、生活ができなくなった70代男性について、令和元年12月20日補助審判があり、施設入所から少しでも自宅で過ごせるように支援しました。

・夫の突然死により、在宅での生活が困難となり施設入所となった80代女性について、令和3年12月23日後見審判があり、訪問や施設・他機関と連携しながら、本人が施設で心穏やかに生活できるよう支援しました。

・施設入所している50代男性について、津山市社協から依頼があり、令和3年2月16日後見審判がでる。頻繁に訪問して信頼関係を築きながら、本人の生活について施設や家族と協議を行い、穏やかな生活を送れるよう支援しました。

・今まで金銭管理等をしていた妹が亡くなり、頼れる親族がいなくなり、金銭管理や手続き等ができなくなった、施設入所をしている80代女性について、令和4年2月に補助審判があり、複数後見の市民後見人と連携を取り、本人と関係が築けるよう支援しました。

6. 金銭管理・財産保全サービス(1件)

判断能力に関わらず、金銭管理及び書類等の保管が適切に行うことが困難であると認められるものと契約し、当事者が自ら行えるように支援を行いました。

7.ふくしの相談会の実施

県北の権利擁護のネットワークの連携を強化することを目的に、津山市・鏡野町・久米南町と美咲町の4つの社会福祉協議会が共同で開催し、より身近な専門職による相談の機会の提供とワンストップの相談支援に努めました。

第18回 令和3年7月7日(水) 13:30～15:30
 会場 津山市総合福祉会館
 相談件数 11件 (内美咲町分 0件)
 相談員等スタッフ 35名

第19回 令和3年10月20日(水) 13:30～15:30
 会場 鏡野町中央公民館
 相談件数 5件 (内美咲町分 2件)
 相談員等スタッフ 19名

第20回 令和4年1月25日(火) 13:30～15:30
 会場 美咲町中央保健センター
 相談件数 7件 (内美咲町分 4件)
 相談員等スタッフ 22名

8. 心配ごと相談事業

心配ごと相談・行政相談・人権相談等の合同相談所を開設し生活支援に取り組みました。

相談状況

| 地区 | 開催回数 | 相談件数 | 相談場所 |
|----|------|------|------------|
| 中央 | 4回 | 12件 | 中央保健センター |
| 柵原 | 3回 | 19件 | 柵原総合文化センター |
| 旭 | 4回 | 13件 | 旭町民センター |

9. 生活困窮者等支援事業の実施状況

新型コロナウイルスの影響で減収・失業した方やひきこもり状態の方等に対して、本人に寄り添いながら課題を整理し、フォーマル・インフォーマルの支援ネットワークを構築して自立促進を図るよう努めました。また、就職につながった後のアフターフォローや一時的な食料支援、リサイクル家電の提供等、幅広い生活ニーズに対応できるように取り組みました。

9-1 生活困窮者自立相談支援事業(受託)

年間相談件数

| 新規相談 | 電話相談 | 来所相談 | 訪問(同行支援含む) | 支援会議 | 他機関との 連絡調整 | プラン(評価含 む) |
|---------|------|------|------------|------|---------------|---------------|
| 25件(世帯) | 468件 | 149件 | 201件 | 17件 | 369件 | 8件 |

※プランの内、自立相談支援事業による就労支援 1件
 継続的な見守り 1件
 家計改善支援事業 2件
 評価(継続支援及び終結) 4件

9-2.ふらっとほーむみさき事業

引きこもりや障害など、様々な要因で社会とのつながりが薄れ、生きづらさを抱えた人が社会に順応していくためには、まずは自分のペースで家の外に出ることから始める必要がある。

コロナ禍で活動するのに厳しい状況ではありましたが、地域住民と連携し、就労に向けての意識づくりをはじめ、就職までの支援に努めました。さらに自立した生活を送るためには、生活環境を整える必要もあり、地域住民の協力を得て、依頼者宅の清掃等住環境の整備も行いました。

○実施状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 実施回数 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 7回 |
| 参加人数 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 8人 |

内容:作業所の見学、草刈、地域(個人宅)での清掃、履歴書作成、面接練習等

9-3.食料支援及びリサイクル事業の取組み

生活に困窮している方を対象に地域の方から寄付していただいた、お米・生活用品・家電製品等の無償提供を行い、自立した生活が送れるように支援しました。

食料・衣類支援 12件

家電リサイクル・修繕 3件

9-4. 赤い羽根 小規模な家屋修繕等の環境整備事業

障がいのある方や生活保護に至る前の状態である生活困窮者の方等、生活に余裕がない世帯に対して、家屋修繕の材料費の一部を負担することで生活環境を整え、住み慣れた自宅で安心して生活できるように支援しました。修繕には、岡山県建設労働組合の方にご協力いただき、毎年行われている奉仕活動に併せて実施していただきました。

○利用件数…高齢者のみ世帯 1件

○修繕内容…自宅内部の床の張り替え

10. 生活福祉資金貸付事業(県社協の事業)の状況

低所得者・障害者・高齢者等の生活困窮の世帯に対し、生活福祉資金の貸付・償還等の必要な援助指導を行うことをとおして、その自立を支援することに努めました。

①貸付利用延べ件数(令和4年3月末現在)

| ※新規貸付 | 償還済 | 利用件数 |
|-------|-----|------|
| 0件 | 0件 | 11件 |

②特例貸付利用延べ件数(令和4年3月末現在)

| 緊急小口資金 | 総合支援資金 (初回) | 総合支援資金 (延長) | 総合支援資金 (再貸付) |
|--------|----------------|----------------|-----------------|
| 64件 | 43件 | 22件 | 32件 |

11. 福祉資金貸付事業(美咲町社協実施制度)の状況

生活困窮者を対象に一時的な貸付を行う場合に、生活費等の貸付を行うとともに、生活相談や日常生活援助指導を行いました。また、滞納者には福祉事務所等他機関と連携し償還指導に努めました。

貸付・償還状況

| 新規貸付 | 償還済 | 利用件数(3月末現在) |
|------|-----|-------------|
| 2件 | 7件 | 7件 |

※所在不明で長年償還がなかったため、今年度で徴収不能処理対応したケースが1件あり。

(3月の理事会において欠損処理承認済み・来年度から抹消)

※同一人物への貸付、同一人物からの償還完了に関しては1件として計上

償還指導状況

| 日付 | 送付件数 | 備考 |
|-------|------|--|
| 8月16日 | 9件 | ※督促状送付対象者5名 ※残高確認書送付対象者4名 訪問又は郵送にて通知及び償還指導を行う。 |
| 2月16日 | 6件 | ※督促状送付対象者4名 ※残高確認書送付対象者2名 訪問又は郵送にて通知及び償還指導を行う。 |

(4) その他福祉事業の推進

①福祉バス運行事業

コロナ禍により、感染拡大予防のため事業の休止が続く中、事業の必要性及び車両維持管理費の観点から、事業を継続することが困難であると判断し、事業を廃止としました。

②福祉団体活動支援事業

町の補助により、福祉団体の自主的運営に対して助成を行い、自主活動の支援を行いました。

支援団体:4団体(美咲町身体障害者福祉協会・美咲町遺族会・美咲町保護司会・美咲町更生保護女性会)

③広報活動の促進

広報紙「社協だより」を毎月(5,800部)発行し、社協が実施する福祉事業について周知を図るとともに、福祉活動や福祉情報等を提供してきました。令和3年度からは「みしゃモンクイズ」を掲載し、より多くの方に社協だよりに興味を持ち、見ていただけるよう取り組みました。

また、ホームページ・フェイスブックを活用して情報をタイムリーに幅広く発信していくことにも努めてきました。

| みしゃモンクイズ実施期間 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 |
|--------------|--------|--------|--------|
| 応募者(正解者) | 4名(1名) | 6名(3名) | 7名(2名) |

※正解者には、みしゃモングッズ(ボールペン、お守り、マスキングテープ)を贈呈

(5) 地域包括支援センター機能の強化事業

1. 包括的支援事業

① 第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント事業)

- ①-I 介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)は、介護認定要支援者及び基本チェックリストの記入内容が事業対象の基準に該当した方に対し、介護予防及び自立支援を目的として、その心身の状況や置かれている環境、その他の状況に応じて必要な支援に努めました。
- ①-II 75歳以上で福祉サービスを利用していない独居高齢者や高齢者世帯を訪問し、生活の実態把握を行い、介護予防及び福祉サービス等が必要と認められる場合はその支援に努めました。また、訪問以外でも社会福祉協議会が開催支援する小地域ケア会議に出席し、民生委員や地区役員から要援護者等の状況について情報共有し、支援の検討を行いました。
- ①-III 要介護状態になることを予防するため、特に困難事例については、地域ケア個別会議等で多職種から助言をいただき、介護予防ケアプランを作成する上で、介護予防事業及び社会資源等の適切なサービスが包括的・効率的に実施されるよう支援に努めました。

※5回開催(うち3回書面開催)(7回コロナ感染予防対策で中止)

② 総合相談支援事業

高齢者やその家族の介護の悩みや福祉、健康、介護予防等の困りごとに対して、よりよい解決ができるように、電話や訪問等により相談に応じ、包括支援センターの専門職(主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士等)が連携しながら、総合的な支援に努めました。

(相談件数等 総合相談件数及び主な事業、会議、研修実績一覧参照)

- ②-I 電話で相談があった場合は積極的に訪問等の手段により実態把握を行い、また、関係機関から情報収集するなど、支援が必要なケースに早期に対応できるよう努めました。
- ②-II 複雑多様な相談内容について行政及び関係機関等と連携し一体的な支援に努めました。

③ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない困難な状況にある高齢者が、生活を維持し安心して生活することができるよう、行政及び権利擁護センター・関係機関等と連携し、高齢者の権利擁護に必要な支援に努めました。

(対応件数等 総合相談件数及び主な事業、会議、研修実績一覧参照)

③-I 高齢者虐待の防止及び対応

高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るため、保険年金課及び福祉事務所・権利擁護センター・関係機関等と連携し、取り組みました。

今年度は、介護支援専門員から高齢者虐待の疑いケースとして相談を受けることが多くあり、虐待防止視点での支援に努めました。高齢者虐待の対応としては、相談受付後に事実確認に努め、コア会議を開催し、虐待有無や緊急性の判断及び役割分担し対応しました。特に困難事例については、契約弁護士や権利擁護センター等と相談・連携しながら対応しました。

高齢者虐待防止研修会を計画していましたが、コロナ禍の影響で開催できませんでした。

| | | |
|-------|------------------|-----|
| 令和3年度 | 高齢者虐待(疑い)相談受付実件数 | 13件 |
|-------|------------------|-----|

③-II 成年後見制度の活用促進

成年後見制度利用等の相談を受けた場合、権利擁護センター及び福祉事務所等の関係機

関と連携しながら支援に努めました。

成年後見制度を幅広く周知させるため、関係機関とともに広報啓発を図りました。

③-Ⅲ 権利擁護業務アドバイザー会議の開催

包括支援センター及び福祉事務所・権利擁護センター・行政関係課等の困難事例について、岡山パブリック法律事務所の高木弁護士がアドバイザーとなり、困難事例の解決に向けた支援や高齢者虐待事例の対応について、隔月検討しました。

③-Ⅳ 老人福祉施設への措置支援

虐待等の理由で老人福祉法上の措置が必要と判断した場合、保険年金課及び福祉事務所等と協議し、措置入所につなげていますが、令和3年度は、措置入所になったケースはありませんでした。

③-Ⅴ 消費者被害防止

地域住民に対し、消費者被害に関する情報を周知するとともに、支援が必要な高齢者については速やかに対応するため関係機関と情報共有し、早期発見・防止に努めました。

| | | |
|------|--------------------------------------|--------------|
| 開催日 | 令和3年7月7日(水) | 令和3年7月14日(水) |
| 対象者 | 柵原かしの実大学 | 旭きらめき学級 |
| 開催場所 | 柵原総合文化センター | 旭町民センター |
| テーマ | 「近年多発している消費者被害の手口を知り 予防や対応について学ぶ」 | |
| 講師 | 美咲町地域包括支援センター・美咲町社会福祉協議会地域福祉課 | |

④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の高齢者が住みなれた地域で安心して生活することができるよう、介護支援専門員の連携及び多職種や関係機関と連携を図り、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、介護支援専門員の後方的支援に努めました。

④-Ⅰ 日常的な個別指導・相談

日常的業務に対し、主任介護支援専門員が専門的見地から指導と支援に努めました。

④-Ⅱ 事例検討会の実施

介護支援専門員から支援困難事例を提示し、美作大学 堀川涼子教授からアドバイスをいただきました。事例をとおして、問題解決のための視点を養い、気づきを持ち、支援の組み立てを学ぶことにより、介護支援専門員の資質向上及び相談援助技術向上に努めました。

| | | |
|-------|-----------------------------|---------------|
| 開催日 | 令和3年6月23日(水) | 令和3年11月19日(金) |
| 内容 | 介護支援専門員が担当している中の困難ケース等 | |
| 参加対象者 | 美咲町の要支援・要介護者を担当している介護支援専門員等 | |

※ 2月の予定は、コロナ感染拡大のため中止。

④-Ⅲ 美咲町第1回介護支援専門員等研修会の実施

親族のいない独居高齢者、認知症高齢者、子供など親族がいても関係が良好でなく支援拒否や身元引受の拒否があるケースが目立ってきています。

本人にとって不利益な結果を招くことがないように、適切な制度の理解を行い、相談をすることができるように、様々な制度を正しく理解し、活用することができる研修会を開催しました。

| | |
|-----|---------------|
| 開催日 | 令和3年10月25日(月) |
|-----|---------------|

| | |
|-------|-------------------------|
| 内容 | 「成年後見制度・日常生活自立支援事業を知ろう」 |
| 参加対象者 | 美咲町内の介護支援専門員等 |

④-IV 美咲町介護給付適正化事業

保険年金課担当職員と合同で、研修会を計画・実施しました。

| | |
|-------|--|
| 開催日 | 令和3年4月22日(木) |
| 内容 | 「地域の高齢者支援のためのケアマネジメントの向上について ～制度改正を確認しケアマネジメントの基本を確認しよう～」 |
| 講師 | NPO 法人 岡山県介護支援専門員協会 会長 堀部 徹 |
| 参加対象者 | 町内の利用者を担当している介護支援専門員等 |

④-V 介護給付適正化研修会参加

| | |
|------|---------------|
| 開催日 | 令和3年11月30日(火) |
| 開催場所 | 津山保健センターホール |

総合相談件数及び主な事業、会議、研修実績一覧

(令和4年3月末現在)

| 主な事業・会議等 | 回数等 |
|--|--------|
| 地域包括支援センター運営協議会 委員：公益代表、介護サービス事業者代表、学識経験者、権利擁護事業関係、 被保険者代表 ※事業計画・報告及び予算・決算等について協議 | 0回 |
| 総合相談支援事業(延べ対応件数) ・介護相談 810件 ・福祉相談(介護相談除く 障がい、生活困窮等) 117件 ・介護予防 143件 ・認知症 201件 ・健康医療 333件 ・虐待、権利擁護 331件 ・その他 148件 | 2,083件 |
| 虐待・権利擁護対応内訳(延べ対応件数) ・成年後見制度の活用促進 0件 ・日常生活自立支援事業利用の支援 2件 ・高齢者虐待の相談及び対応(電話対応等含む) 23件 (老人福祉施設等措置の支援) 0件 (契約入所移行等の支援) 0件 (介護支援専門員等への支援、その他の支援) 4件 ・消費者被害防止対応 1件 | 26件 |

| | |
|-----------------------|------|
| 高齢者虐待コアメンバー会議 | 12回 |
| ケース会議(開催実数) | 14回 |
| 権利擁護業務アドバイザー会議(隔月開催) | 4回 |
| (延べ件数) | 7件 |
| 高齢者虐待防止研修会 | 0回 |
| 消費者被害防止研修会 | 2回 |
| 地域包括ケア会議 | 2回 |
| 中央・旭・柵原地域ケア会議(3地区×6回) | 12回 |
| 小地域ケア会議(延べ参加回数) | 111回 |
| 包括的・継続的マネジメント事業 | |
| 介護支援専門員に対する個別支援(延べ件数) | 63回 |
| 介護支援専門員事例検討会 | 2回 |
| 介護支援専門員研修会 | 1回 |
| 美咲町介護給付適正化事業 | 1回 |
| 介護保険訪問調査 | 81件 |
| 実態把握訪問 | 141件 |

2.事業・会議等

①地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの運営における事業の実施状況や事業計画等について、協議会メンバーが一同に集い、それぞれの活動の枠を超えて地域の課題を共有し、解決に向けた話し合いや連絡調整、連携・協力が行われる場となることで、地域の課題解決を推進する役割を担っているため、運営協議会の開催は必要と考えます。

② 在宅医療・介護連携事業の推進(行政主体)

地域包括ケアシステムの構築のためには、医療と介護の連携は重要であり、行政及び関係機関と連携し、在宅医療・介護連携推進協議会で施策及び事業を推進しました。

協議事項について必要な検討を行うため、医療関係者及び行政関係課・地域包括支援センター・関係機関等で部会を設置し、医療介護連携、認知症対策、生活支援体制等について協議・検討を行いました。

次の項目を重点目標として推進しました。

- i 地域の医療・介護資源の把握
- ii 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- iii 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- iv 医療・介護関係者の情報共有の支援
- v 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- vi 医療・介護関係者の研修
- vii 地域住民への普及啓発
- viii 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

②-I 在宅医療・介護連携部会 毎月参加

③地域ケア会議等の充実

③-I 地域ケア会議の開催

日常生活圏域(中学校区)で、自治会長、民生委員・児童委員、小地域ケア会議の構成員、介護保険事業所職員、行政職員等から構成し、地域課題等について協議しました。

第1回地域ケア会議

| 地域 | 中央地域 | 柵原地域 | 旭地域 |
|----|--|--------------------|-----------------|
| 月日 | 令和3年7月26日(月) | 令和3年7月28日(水) | 令和3年7月30日(金) |
| 会場 | 中央保健センター 大講義室 | 柵原総合文化センター 大ホール | 旭町民センター 大会議室 |
| 時間 | 13:30~15:30 | 13:30~15:30 | 13:30~15:30 |
| 内容 | テーマ「子どもから高齢者までの幅広い世代が地域全体で見守り・見守られることができる地域づくり」 【発表地域】 ・打穴西地区(中央)「生活支援サポーターを中心とした見守りのしくみ」 ・旭見まわり隊(旭)「見まわり隊による見守り活動について」 ・小瀬地区(柵原)「救急安心カードによる見守り活動について」 | | |

第2回地域ケア会議

| 地域 | 旭地域 | 中央地域 | 柵原地域 |
|----|---|--------------------------------|-----------------------------|
| 日時 | 令和3年11月2日(火) 18:30~20:00 | 令和3年11月5日(金) 18:30~20:00 | 令和3年11月9日(火) 18:30~20:00 |
| 会場 | 旭地域 旭町民センター 大講義室 | 中央地域 旧打穴小学校体育館 (現 さくらの実) | 柵原地域 柵原総合文化センター 大ホール |
| 内容 | テーマ 「子どもから高齢者までの幅広い世代が地域全体で見守り・見守られることができる地域づくり」 ~part2~ ★自分たちの地域の課題を具体的に整理する ★事例をとおして「どのような見守り」の方法があれば地域全体で支えることができるのかを考える。 ★町内外の先進地事例を紹介する。 | | |

③-II 地域ケア個別会議(従来の個別ケア会議)の開催

介護認定要支援者及び事業対象者の自立支援に資する計画となるよう包括支援センター職員が作成する個別ケースのアセスメントシートとサービス計画を提示し、多職種(医師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士等)による専門的視点から、支援目標及び福祉サービス・社会資源等について、検討を行いました。

令和3年度より、自治会単位等で行う個別ケースのケア会議と区別するため、名称を個別ケア会議から「地域ケア個別会議」と改めました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、会議の開催が困難な状況が続いたため、令和4年1月より書面開催にて検討を行いました。

※令和3年度に5回開催(うち3回書面開催)(7回コロナ感染予防対策で中止)

③-III 小地域ケア会議への参加

社会福祉協議会が開催支援する小地域ケア会議(81自治会の内、60自治会)に参加し、地域課題及び個別課題の支援等について、情報共有及び検討を行いました。

小地域ケア会議で把握した個別課題等については地域ケア会議へと展開し、その支援方法等について情報共有・検討を行いました。

④地域包括ケア会議(行政主体)への参画

住み慣れた地域で自立した生活を最期まで送ることができるように、高齢者・障がい者・子ども等、全ての世代で支え・支えられるまちづくりが求められており、介護・育児・障がい・生活困窮などに対応した包括的な生活支援を切れ目なく提供できる体制(地域包括ケアシステム)づくりを推進するため、行政及び地域包括支援センター、社会福祉協議会、関係機関とともに地域課題及び展開している事業等について共有・協議しました。

| | |
|------|-----------------------|
| 地域包 | 【第1回 8月 地域ケア会議の報告】 |
| 括ケア会 | 【第2回 12月 地域ケア会議からの提言】 |
| 議 | 【第3回 3月 ※書面決議】 |

以上の会議に参加を行い、地域にある生活ニーズの把握に努めるとともに、地域ケア会議から意見の提言を行いました。

⑤認知症総合支援事業(行政主体)

認知症の人や家族が安心して暮らせる優しいまちづくりを目指し、認知症の状態に応じた適切な医療や介護サービスが提供される仕組みづくり及び認知症の人や家族に対する総合的な支援に努めました。

⑤-I 認知症事業連絡会への参画

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、行政及び関係機関、団体等と連携するとともに、認知症事業についての情報共有及び検討を行い、認知症に関わる事業や啓発活動を推進しました。

⑤-II 認知症啓発活動の推進支援

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることを目的に、啓発活動に取り組みました。

また、地域住民一人ひとりが地域で何ができるかを考え、できることから行動に移すきっかけづくりを推進しました。

○ 9月アルツハイマー月間に合わせて啓発活動

行政担当者と協力し、認知症のチェックや認知症に関する情報、町民の方が投稿された川柳などを載せたポスターを掲示しました。また、通いの場等で標語入りマスクを配り、認知症の啓発を行いました。

⑤-III 認知症カフェ(オレンジカフェ)の推進支援

認知症の人やその家族・地域住民・専門職等、誰もが住み慣れた地域でいつまでもその人らしい生活ができるように、仲間づくりや生きがい支援、介護する家族の負担軽減、認知症や介護の相談支援の場として、オレンジカフェの設置運営支援に努めました。新型コロナウイルス感染症の流行状況から、令和3年8月より開催し、11月からは3地域を順番に開催する形に変更しました。

| 開催日 | 開催場所 | 参加人数 |
|---------|------------|------|
| 令和3年8月 | 中央保健センター | 4人 |
| 令和3年9月 | 中央保健センター | ※中止 |
| 令和3年10月 | 中央ふれあいセンター | 4人 |

| | | |
|---------|------------|-----|
| 令和3年11月 | 柵原総合文化センター | 8人 |
| 令和3年12月 | 旭町民センター | 4人 |
| 令和4年1月 | 中央保健センター | 5人 |
| 令和4年2月 | 旭町民センター | ※中止 |
| 令和4年3月 | 柵原総合文化センター | 14人 |

⑤-IV 認知症見守り声かけ訓練の開催支援

認知症の人の気持ちに配慮した声かけや見守り方法を学び、地域でどのように見守っていくのか、または支えあっていくのかを考えるきっかけとなるように、自治会単位で実地訓練を行いました。

| 開催日 | 場所 | 対象 | 参加者数 |
|------------|------|-------------|------|
| 令和3年11月15日 | 南公民館 | 小地域ケア会議メンバー | 11名 |

⑤-V 認知症サポーター養成講座の開催

認知症地域支援推進員等による地域支援体制の構築とともにキャラバンメイト(認知症サポーター養成講座講師)が地域や圏域・職域等において、地域住民に認知症の正しい理解を広めるため、認知症サポーター養成講座を開催しました。

| 開催日 | 団体等 | 受講者数 |
|------------|---------------|------|
| 令和3年11月15日 | 南地区見守り声掛け訓練 | 11人 |
| 令和3年11月18日 | 美咲中央小学校4年生 | 22人 |
| 令和4年3月14日 | 西埴和地区小地域ケア会議 | 13人 |
| 令和4年3月22日 | 生活支援サポーター養成講座 | 20人 |
| 令和4年3月30日 | 西川老人クラブ | 29人 |

⑤-VI 認知症初期集中支援チームによる支援

認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族へ早期診断・早期対応、日常生活上の助言等の支援に努めました。

⑤-VII 認知症相談日の設置

「認知症についてどこに相談したらよいかわからない」という声から、より住民にわかりやすく相談しやすい場を作るために、毎月第1火曜日午前中に保健センターで認知症相談日を設けました。しかし、相談利用者がほとんどなかったことから、令和3年8月より認知症カフェに併設しました。

⑥ みまさか認知症疾患医療センター・認知症疾患医療連絡協議会への参加

医療と介護を中心とした臨床倫理的課題の克服を目指し、尊厳や人権を重視した支援が行えるよう、みまさか認知症疾患医療センター(積善病院)が開催する連絡協議会及び研修会等に参加し、相談支援の質の向上を図りました。

⑥-I 認知症臨床倫理研究会 (6月、10月 年2回 参加)

⑥-II 認知症ケア推進会議 (年1回 参加)

⑥-III 事例検討会準備会議 (5月 参加)

3.指定介護予防支援事業

介護保険における予防給付の対象となる要支援者及び事業対象者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況と置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当計画に基づく指定介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等の関係機関と連絡調整を行いました。

サービス計画を作成する際、困難と思える事例については、多職種で構成する個別ケア会議でアドバイスを受ける等、適切なサービス計画を作成するよう努めました。

① 介護予防支援サービス計画作成実績

① - I 介護予防支援サービス計画作成実績(前年度実績)

(単位:件数)

| | | | | | | |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 審査月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 件数 | 113(123) | 114(113) | 115(120) | 115(110) | 106(112) | 113(113) |
| (委託) | (5) | (5) | (5) | (4) | (3) | (3) |
| 審査月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 件数 | 115(117) | 115(119) | 105(120) | 103(112) | 103(117) | 109(112) |
| (委託) | (3) | (2) | (2) | (2) | (2) | (2) |

① - II 介護予防支援サービス相談支援

(単位:件数)

| | 実績 |
|-----------|---------------|
| 訪問・面接 | 1,663(1,195)件 |
| 電話 | 1,002(1,030)件 |
| サービス担当者会議 | 165(104)件 |

Ⅲ.介護保険事業

美咲町で暮らす誰もが、安心して暮らし続けることができるよう、通所介護・訪問介護・居宅介護事業・地域密着型特別養護老人ホーム事業の運営に積極的に取り組みました。

1.通所介護事業(デイサービス事業)

日常生活に支援が必要な人、要介護状態にある人が、出来る限り住み慣れた地域・我が家において、安心して日常生活を過ごすことが出来るよう、介護保険法による通所介護事業を積極的に取り組みました。また、利用者の心身の状況に応じた通所介護計画書を作成し、多職種との連携を図り、利用者支援に努めました。

(事業実施事業所)

(1)美咲町中央ふれあいセンター

①事業実施の概要

- ・利用定員 40人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 常勤職員7名、非常勤職員8名
管理者1名(兼務)、生活相談員3名(兼務3名)、看護職員2名(兼務2名)、
機能訓練指導員2名(兼務2名)、介護職員12名(兼務7名)、
介護助手1名、調理員4名(兼務2名)

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。 ※稼働率 92.9%

| 年月 | 営業日 | 利用者数合計 | 現行相当 | 要介護Ⅰ～Ⅱ | 要介護Ⅲ～Ⅳ | 1日平均 |
|-------|------|---------|------------|--------------|--------------|-------|
| 03・04 | 26日 | 962人 | 71人(7.4%) | 643人(66.8%) | 248人(25.8%) | 37.0人 |
| 03・05 | 26日 | 946人 | 66人(7.0%) | 643人(68.0%) | 237人(25.1%) | 36.4人 |
| 03・06 | 26日 | 967人 | 72人(7.4%) | 662人(68.5%) | 233人(24.1%) | 37.2人 |
| 03・07 | 27日 | 1,003人 | 70人(7.0%) | 685人(68.3%) | 248人(24.7%) | 37.1人 |
| 03・08 | 26日 | 987人 | 73人(7.4%) | 672人(68.1%) | 242人(24.5%) | 38.0人 |
| 03・09 | 26日 | 1,015人 | 60人(5.9%) | 687人(67.7%) | 268人(26.4%) | 39.0人 |
| 03・10 | 26日 | 962人 | 67人(7.0%) | 669人(69.5%) | 226人(23.5%) | 37.0人 |
| 03・11 | 26日 | 984人 | 71人(7.2%) | 682人(69.3%) | 231人(23.5%) | 37.8人 |
| 03・12 | 24日 | 915人 | 51人(5.6%) | 628人(68.6%) | 236人(25.8%) | 38.1人 |
| 04・01 | 24日 | 866人 | 59人(6.8%) | 592人(68.4%) | 215人(24.8%) | 36.1人 |
| 04・02 | 24日 | 843人 | 54人(6.4%) | 597人(70.8%) | 192人(22.8%) | 35.1人 |
| 04・03 | 27日 | 999人 | 78人(7.8%) | 702人(70.3%) | 219人(21.9%) | 37.0人 |
| 合計 | 308日 | 11,449人 | 792人(6.9%) | 7,862(68.7%) | 2,795(24.4%) | 37.2人 |

(2)美咲町柵原デイサービスセンターかしのき荘

①事業実施の概要

- ・利用定員 25人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 常勤職員4名、非常勤職員7名
管理者1名(兼務)、生活相談員3名(兼務3名)、看護職員2名(兼務2名)、
機能訓練指導員2名(兼務2名)、介護職員11名(兼務8名)、
調理員2名(兼務2名)

②事業実施状況

i) 介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。 ※稼働率 88.6%

| 年月 | 営業日 | 利用者 数合計 | 現行相当 | 要介護 I～II | 要介護 III～IV | 1日 平均 |
|-------|------|------------|------------|--------------|---------------|----------|
| 03・04 | 26日 | 603人 | 47人(7.8%) | 389人(64.5%) | 167人(27.7%) | 23.2人 |
| 03・05 | 26日 | 609人 | 44人(7.2%) | 382人(62.7%) | 183人(30.0%) | 23.4人 |
| 03・06 | 26日 | 575人 | 36人(6.3%) | 353人(61.4%) | 186人(32.3%) | 22.1人 |
| 03・07 | 27日 | 591人 | 42人(7.1%) | 371人(62.8%) | 178人(30.1%) | 21.9人 |
| 03・08 | 24日 | 516人 | 31人(6.0%) | 306人(59.3%) | 179人(34.7%) | 21.5人 |
| 03・09 | 26日 | 561人 | 34人(6.1%) | 325人(57.9%) | 202人(36.0%) | 21.6人 |
| 03・10 | 26日 | 603人 | 35人(5.8%) | 328人(54.4%) | 240人(39.8%) | 23.2人 |
| 03・11 | 26日 | 609人 | 33人(5.4%) | 327人(53.7%) | 249人(40.9%) | 23.4人 |
| 03・12 | 24日 | 535人 | 30人(5.6%) | 304人(56.8%) | 201人(37.6%) | 22.3人 |
| 04・01 | 24日 | 521人 | 27人(5.2%) | 287人(55.1%) | 207人(39.7%) | 21.7人 |
| 04・02 | 24日 | 524人 | 27人(5.2%) | 285人(54.4%) | 212人(40.5%) | 21.8人 |
| 04・03 | 27日 | 534人 | 35人(6.6%) | 275人(51.5%) | 224人(41.9%) | 19.8人 |
| 合計 | 306日 | 6,781人 | 421人(6.2%) | 3,932(58.0%) | 2,428(35.8%) | 22.2人 |

(3)美咲町福祉の里 あさひが丘

①事業実施の概要

- ・利用定員 25 人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 常勤職員4名、非常勤職員7名
管理者1名(兼務)、生活相談員3名(兼務3名)、看護職員2名(兼務2名)、
機能訓練指導員2名(兼務2名)、介護職員7名(兼務5名)、介護助手1名、
調理員2名(兼務1名)、運転職員2名

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。 ※稼働率 67.3%

| 年月 | 営業日 | 利用者数合計 | 現行相当 | 要介護 I～II | 要介護 III～IV | 1日平均 |
|-------|------|--------|-------------|--------------|--------------|-------|
| 03・04 | 26日 | 496人 | 55人(11.1%) | 321人(64.7%) | 120人(24.2%) | 19.1人 |
| 03・05 | 26日 | 484人 | 62人(12.8%) | 303人(62.6%) | 119人(24.6%) | 18.6人 |
| 03・06 | 26日 | 464人 | 72人(15.5%) | 283人(61.0%) | 109人(23.5%) | 17.8人 |
| 03・07 | 27日 | 473人 | 64人(13.5%) | 283人(59.8%) | 126人(26.7%) | 17.5人 |
| 03・08 | 25日 | 432人 | 69人(16.0%) | 260人(60.2%) | 103人(23.8%) | 17.3人 |
| 03・09 | 26日 | 434人 | 72人(16.6%) | 245人(56.4%) | 117人(27.0%) | 16.7人 |
| 03・10 | 26日 | 393人 | 68人(17.3%) | 221人(56.2%) | 104人(26.5%) | 15.1人 |
| 03・11 | 26日 | 419人 | 68人(16.2%) | 233人(55.6%) | 118人(28.2%) | 16.1人 |
| 03・12 | 24日 | 382人 | 64人(16.8%) | 222人(58.1%) | 96人(25.1%) | 15.9人 |
| 04・01 | 24日 | 368人 | 61人(16.6%) | 229人(62.2%) | 78人(21.2%) | 15.3人 |
| 04・02 | 24日 | 384人 | 64人(16.7%) | 237人(61.7%) | 83人(21.6%) | 16.0人 |
| 04・03 | 27日 | 439人 | 83人(18.9%) | 266人(60.6%) | 90人(20.5%) | 16.3人 |
| 合計 | 307日 | 5,168人 | 802人(15.5%) | 3,103(60.0%) | 1,263(24.5%) | 16.8人 |

2.訪問介護事業(ホームヘルプ事業)

日常生活に支援が必要な人、要介護状態にある人が、出来る限り住み慣れた地域・我が家において、安心して日常生活を過ごすことが出来るよう、介護保険による訪問介護事業に積極的に取り組みました。また、美咲町からの委託事業である「生活管理指導事業」にも取り組みました。さらに障害者総合支援事業による障がい者の訪問介護サービス事業にも積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

(1)ヘルパーステーション美咲

①事業実施の概要

- ・営業日 月曜日～日曜日
- ・営業時間 午前8時～午後6時30分
- ・職員体制 常勤職員4名、非常勤職員9名
管理者1名(兼務)、管理者代理1名(兼務)、サービス提供責任者4名(兼務4名)、
訪問介護職員13名(兼務4名)

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

| 年月 | 営業日 | 利用件数 合計 | 現行相当 | 要介護 I～II | 要介護 III～IV | 1日 平均 |
|-------|------|------------|------------|--------------|---------------|----------|
| 03・04 | 30日 | 768件 | 53件(6.9%) | 392件(51.0%) | 323件(42.1%) | 25.6件 |
| 03・05 | 31日 | 798件 | 38件(4.8%) | 438件(54.9%) | 322件(40.4%) | 25.7件 |
| 03・06 | 30日 | 839件 | 44件(5.2%) | 427件(50.9%) | 368件(43.9%) | 28.0件 |
| 03・07 | 31日 | 813件 | 44件(5.4%) | 455件(56.0%) | 314件(38.6%) | 26.2件 |
| 03・08 | 31日 | 851件 | 38件(4.5%) | 455件(53.5%) | 358件(42.0%) | 27.5件 |
| 03・09 | 30日 | 830件 | 45件(5.4%) | 443件(53.4%) | 342件(41.2%) | 27.7件 |
| 03・10 | 31日 | 818件 | 57件(7.0%) | 441件(53.9%) | 320件(39.1%) | 26.4件 |
| 03・11 | 30日 | 767件 | 54件(7.1%) | 379件(49.4%) | 334件(43.5%) | 25.6件 |
| 03・12 | 31日 | 815件 | 49件(6.0%) | 364件(44.7%) | 402件(49.3%) | 26.3件 |
| 04・01 | 28日 | 759件 | 42件(5.5%) | 373件(49.1%) | 344件(45.3%) | 27.1件 |
| 04・02 | 28日 | 716件 | 44件(6.1%) | 320件(44.7%) | 352件(49.2%) | 25.6件 |
| 04・03 | 31日 | 829件 | 59件(7.1%) | 384件(46.3%) | 386件(46.6%) | 26.7件 |
| 合計 | 362日 | 9,603件 | 567件(5.9%) | 4,871(50.7%) | 4,165(43.4%) | 26.5件 |

ii)生活管理指導事業

介護保険の対象にならない高齢者の介護予防や日常生活を支援するため、次のとおり、生活管理訪問介護サービスを実施しました。

| 事業名 | 営業日 | 利用件数 |
|--------|-----|------|
| 生活管理指導 | 5日 | 5件 |

4.施設サービス事業(地域密着型特養事業)

住み慣れた地域で、可能な限り安心して日常生活が送れるよう、地域密着型特別養護老人ホームの運営に積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

(1)地域密着型特別養護老人ホーム あさひが丘

①事業実施の概要

- ・長期入所利用定員 25名
- ・短期入所利用定員 4名
- ・居室体制 個室 9室 2人部屋 10室
- ・職員体制 常勤職員12名、非常勤職員11名
施設長1名、生活相談員3名(兼務3名)、看護職員2名(兼務1名)、
介護支援専門員1名(兼務1名)、介護職員12名(兼務4名)、
介護助手4名、栄養士1名(兼務1名)、調理職員3名(兼務1名)、
宿直職員3名

②事業実施の状況

| 形態 | 延べ利用者数 | 要介護Ⅲ | 要介護Ⅳ | 要介護Ⅴ |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 長期入所 | 8,944人 | 1,941人 | 3,698人 | 3,305人 |
| 短期入所 | 268人 | 149人 | 0人 | 51人 |

○長期入所 年間稼働率: 98.0% 1日平均人数: 24.5人 平均人数前年比:100.7%

○短期入所 年間稼働率: 18.4% 1日平均人数: 0.7人 平均人数前年比:297.8%